

昭和五年二月（一九三〇年）

極東阿片
吸飲事情
調査委員會ノ
質問ニ對スル
回答

臺灣總督府警務局衛生課

B-0908

0246

目次

A	阿片取締ニ關スル一般の質問	一
B	阿片取締ニ關スル詳細ナル質問	四
C	社會的及醫學的性質ノ質問	二六
D	不正取引	三六
E	一般の質問	四
F	調査ニ關係アル一般經濟及其他ノ問題	四
G	麻薬ノ取締ニ關スル一般の質問	五

B-0908

0247

極東阿片吸飲事情調査委員會ノ質問ニ對スル回答

A 阿片取締ニ關スル一般的質問

一、質問、千九百十二年海牙阿片條約ハ貴領域ニ於テ何時ヨリ實施サレタルヤ

答 千九百十二年海牙阿片條約ハ大正九年一月十日ヨリ實施セラレタリ

二、質問、千九百二十五年二月ノ壽府阿片協定ハ貴領域ニ於テ何時ヨリ實施サレタルヤ

答 千九百二十五年壽府阿片協定ハ昭和四年一月九日ヨリ實施セラレタリ

三、質問、阿片吸食取締沿革概要

答 明治二十八年我が帝國ガ本島ニ新政ヲ布キタル當初本土ノ住民ハ久シク阿片吸食ノ惡習ニ染ミ其習癖ノ根蒂甚ダ深ク一朝一夕ニ吸食ノ絶對禁止ヲ斷行シ難キ状態ナリシヲ以テ漸禁ノ政策ヲ確立シ明治三十年臺灣阿片令ヲ發布シ一般ニ阿片ノ吸食ヲ嚴禁シ既ニ癮ニ陥リ吸食ノ已ムヲ得ザル者ニ限り吸食ヲ特許スル事トシテ同年四月ヨリ阿片癮者ノ調査ニ著手シ明治三十三年九月ニ至リ癮者ノ網羅ヲ終了セリ當時ノ吸食特許者ハ十六萬九千六百四十四人ナリシガ其後密吸食ノ結果癮ニ陥リタル者アリ已ムヲ得ズ明治三十七、八年ニ三萬五百四十三人、同四十二年ニ一萬五千八百四十九人ニ對シ新ニ吸食ヲ特許セリ爾來二十有餘年全ク特許ヲ行ハズシ

テ來リ癮者漸減ノ成績頗ル顯著ナルモノアリシガ尙密吸食ノ行ハル、實狀ニ鑑ミ其取締ヲ嚴密ニシ斷禁ノ完成ヲ確保スル必要ヲ認メ昭和四年一月臺灣阿片令ヲ改正シ改正令施行前ノ癮者ニ限リ吸食ヲ認メ一般的ニハ斷禁ノ趣旨ヲ宣示スルト共ニ將來密吸食違反者ニハ絶對的ニ自由刑ヲ科シ尙行政處分ニ依リ癮癮ヲ矯正スル新政策ヲ樹立セリ而シテ右改正令施行ノ機ニ於テ密吸食癮者ヲ一掃シ本制度ノ裏面ニ繫レル暗翳ヲ拂ヒ名實共ニ燦然トシテ有終ノ美ヲ濟サシムベク昨年十二月ヨリ之等密吸食癮者ノ調査ニ著手シ目下其ノ進行中ニ在リ調査ノ結果癮ノ重ク吸食ノ已ムヲ得ザル者ニハ最終的ニ吸食ヲ特許シ其ノ他ノ者ハ矯正救癮スル方針ニテ既ニ假矯正所ヲ設置シ本年一月十五日ヨリ矯正治療ヲ開始セル狀況ナリ尙詳細ハ別冊臺灣ニ於ケル阿片制度ノ現況中ニ在リ

四、質問、現行阿片吸食取締ノ特色如何

答 本島阿片吸食取締ノ特色左ノ如シ

- (一) 阿片ノ生産消費ヲ統制シ且ツ取締ノ完全ヲ期スル爲阿片專賣制ニ依ルコト
- (二) 確固タル斷禁主義ヲ採レル事但現行臺灣阿片令施行(昭和四年二月廿日)前ノ癮者ニシテ總督ヨリ既ニ特許ヲ得タル者及現ニ調査中ノ者ニシテ特許ヲ得ル者ニ限リ吸食ヲ許容スル事
- (三) 密吸食違反者ニ對スル刑罰ヲ自由刑トシ刑ノ效果ニ依リ陷癮ヲ豫防シ及癮癮ヲ矯正スル

コト

(四) 行政處分ニ依リ癮者ヲ矯正シ斷禁ノ完成ヲ確保促進スルコト

(五) 阿片烟館ノ開設維持ヲ禁止スルコト

(六) 吸食特許者ニ對シ吸食量ヲ指定スルコト

(七) 阿片賣下機關ハ許可營業トスルコト

五、質問、政府ハ近キ將來ニ於テ何等追加的措置ヲ執ル意嚮ヲ有セラルヤ

答 昭和四年一月臺灣阿片令ヲ改正シ前述ノ如ク斷禁ノ完成ヲ確保促進スルノ新政策ヲ樹立シ其ノ政策實施ノ措置ヲ執リツツアルヲ以テ近キ將來ニ於テハ特ニ追加的措置ヲ執ル意嚮ナシ

六、質問、阿片吸食ノ取締ニ關スル法令及規則如何(各法規四部入手方ヲ希望ス)

答 臺灣阿片令、同施行規則、別冊臺灣ニ於ケル阿片制度ノ現況中ニ在リ

七、質問、貴領域全土ニ對シ統一の規則實施サレアリヤ、若シ無シトセバ各地方ノ規則如何

答 本島ニハ統一の規則ヲ施行ス

八、質問、夫々異ナル法令及規則ニ基ク刑罰如何

答 刑罰ハ臺灣阿片令第十三條以下及同施行規則第四十六條以下ニ在リ

九、質問、過去十箇年間ニ於ケル起訴及有罪決定件數竝ニ阿片ノ法令及規則ニ基キ課セラレタル平

均判決件數ヲ明示スル統計ヲ希望ス
答 右統計左ノ如シ

年	大正九年同	十年	十一年	十二年	十三年	十四年	昭和元年	二年同	三年同	四年	平均
一般犯罪起訴件數	四九六	五五三	五三七	五九二	六二五	七六八	七六三	七五九	八四八	七四八	六五三
一般犯罪有罪判決件數	四八四	五三六	四九〇	五七〇	五九七	六九四	七六五	七五五	八五三	七五四	六四二
阿片犯罪起訴件數	四五	七五	五三	四八	六〇	九六	九四	八七	八三	九二	七五
阿片犯罪有罪判決件數	三二	六三	五七	四四	五八	九三	八三	八元	九五	七三	七三

備考 本表統計ハ正式裁判ノ件數ニシテ即決件數ヲ含マズ

B 阿片取締ニ關スル詳細ナル質問

- 一、質問、生阿片ノ輸入ニ關スル規則如何禁止サレ居ルトセバ其ノ日附
答 生阿片輸入ハ臺灣阿片令第四條ヲ以テ政府以外絕對ニ禁止セラル。禁止ノ日附ハ明治三十年四月一日
- 二、質問、生阿片ノ輸入ガ若シ許可サレタル場合如何ナル書類ヲ税關官憲ニ提出ノ必要アリヤ
答 生阿片ノ輸入ハ許可セラレズ

- 三、質問、生阿片ノ輸出ニ關スル規則如何、禁止サレ居ラバ其ノ日附
答 生阿片ノ輸出ハ臺灣阿片令第四條ヲ以テ絕對ニ禁止セラル。禁止ノ日附ハ昭和四年一月九日
- 四、質問、生阿片ノ輸出ガ若シ許可サレタル場合如何ナル書類ヲ税關官憲ニ提出ノ必要アリヤ
答 生阿片ノ輸出ハ許可セラレズ
- 五、質問、生阿片ノ積換又ハ通過ハ許可セラルルヤ其ノ條件如何、禁止サレ居ラバ其日附
答 生阿片ノ積換及通過ハ輸入國政府ノ發給シタル輸入證明書ヲ當該官憲ニ提出シ其不正取引ノ虞ナシト認めラルル場合ニ限り認許セラル。本項施行ノ日ハ昭和四年一月九日
- 六、質問、阿片烟膏ノ輸入ニ關スル規則如何、禁止サレ居ラバ其ノ日附
答 阿片烟膏ノ輸入ハ臺灣阿片令第四條ヲ以テ絕對ニ禁止セラル。禁止ノ日附ハ明治三十年四月一日
- 七、質問、阿片烟膏ノ輸入ガ若シ許可サレタル場合如何ナル書類ヲ税關官憲ニ提出ノ必要アリヤ
答 阿片烟膏ノ輸入ハ許可セラレズ
- 八、質問、阿片烟膏ノ輸出ニ關スル規則如何、禁止サレ居ラバ其ノ日附
答 阿片烟膏輸出ハ臺灣阿片令第四條ヲ以テ絕對ニ禁止セラル。禁止ノ日附ハ昭和四年一月九日

九、質問、阿片烟膏ノ輸出ガ若シ許可サレタル場合如何ナル書類ヲ税關官憲ニ提出ノ必要アリヤ
答 阿片烟膏ノ輸出ハ許可セラレズ

十、質問、阿片烟膏ノ積換又ハ通過ハ許可セラレルヤ其ノ條件如何、禁止サレ居ラバ其ノ日附

答 阿片烟膏ノ積換及通過ハ臺灣阿片令第四條ヲ以テ絶對ニ禁止セララル。禁止ノ日附ハ昭和四年一月九日

十一、質問、阿片烟膏ノ輸出ガ未ダ禁止サレ居ラズトセバ其ノ遅延理由如何

答 阿片烟膏ノ輸出ハ禁止セララル

十二、質問、阿片烟膏ノ輸出ガ許可サレ居ルトセバ右輸出積荷ノ荷印ニ關シ如何ナル規則ガ實施セラレ居ルヤ

答 阿片烟膏ノ輸出ハ禁止セララル

十三、質問、販賣ノ爲メニスル阿片烟膏ノ製造ハ政府獨專事業ナリヤ、若シ而ラズトセバ其ノ理由如何

答 阿片烟膏ノ製造ハ政府ノ獨專事業トス

十四、質問、阿片ノ卸賣分配及販賣ニ對シ如何ナル制度ガ實施サレアリヤ右制度ハ全然政府獨專事業ナリヤ

答 阿片ノ卸賣ハ政府之ヲ指定シ、販賣ハ許可營業トス。制度ノ實質ハ政府ノ獨專事業ナリ

十五、質問、阿片ノ卸賣値段ヲ指定スルニハ如何ナル主義ニ依ルヤ

答 阿片賣下價格指定ノ方針ハ原料ノ價格、吸食特許者ノ經濟狀態及密輸出入防止ノ關係等ヲ考慮シ適當ニ之ヲ定ム

十六、質問、生阿片又ハ阿片烟膏ノ政府仕入値段幾何、亦阿片ヨリ生ズル政府ノ總收益幾何

答 生阿片仕入價格ハ波斯市場ノ相場ナリ。阿片烟膏ノ仕入ナシ。阿片ニ關スル收支計算ニ於テ收益ナシ。單ニ阿片專賣ノ收支計算ニ於テハ賣下額ノ約百分ノ五十ノ收益アリ

十七、質問、阿片取締ニ關連シ警察、豫防掛、監獄、病院等ノ維持上政府ノ要スル費用幾何ナリヤ

右ニ要スル經費ハ阿片收入ヲ以テ充當スルヤ

答 警察費年額約二百二、三十萬圓

監獄費年額約四萬圓

更正院(阿片癮矯正所)費年額約二十五萬圓(昭和五年度ヨリ)

衛生施設費年額約四百萬圓

右經費ハ阿片收入ヲ以テ直接ニハ充當セズ

十八、質問、專賣制度實施當初ヨリ年々各地方ニ於テ實施スル卸賣段幾何ナリシヤ

答 專賣制度當初ヨリノ賣下價格(一、等煙膏ナリ、二、等ハ現在賣下格ス)左ノ如シ
 制度當初 三百七十五瓦ニ付 十 圓
 明治三十四年 同 十四 圓
 明治四十三年 同 二十一 圓
 大正五年 同 二十四 圓
 大正六年 同 二十八 圓
 大正七年 同 三十五 圓
 大正八年 同 四十 圓

十九、質問、通過中ノ官製阿片ガ許可ヲ受ケテ居ラザル者ノ手ニ入ルコトヲ防止スル爲メ如何ナル保證手段ヲ執ルヤ

答 阿片ヲ政府ヨリ吸食特許者ニ販賣スル迄ノ中間ニ於テ非特許者ニ對スル密賣ヲ防止スル手段トシテハ專賣機關(元賣捌人及小賣人)ニ阿片煙膏ノ受拂ヲ系統的ニ明瞭ナラシメ不正賣買ヲ爲シ得ザラシムルヤウニ記帳義務ヲ負ハシメ而シテ警察官憲ハ時々臨檢シテ實狀ヲ查察シ居レリ

二十、質問、卸賣及小賣分配ノ爲メ官製阿片ノ包裝ニ關スル規則如何

答 包裝ニ關スル規則左ノ如シ

阿片煙膏ハ三百七十五瓦ノ鐵力罐入トシテ罐ノ表面ニハ「臺灣總督府專賣局」及「阿片煙膏」ノ文字ヲ打出シ尙同様ノ文字ヲ記シタル「レッテル」ヲ貼附セリ

阿片煙膏元賣捌人ニ卸ス迄ノ包裝ハ右ノ罐入煙膏ヲ一定ノ木箱ニ入レ其ノ表面ニ臺灣總督府專賣局製造ノ阿片煙膏タルコトヲ明記シ尙封印ノ目的ヲ以テ目張ヲ爲ス元賣捌人ヨリ小賣人ニ販賣スルトキハ罐入ノ儘トシ零賣ヲ禁止スルノミニテ特別ナル包裝ノ規定ナシ

吸食特許者ニ販賣スルトキハ包裝ノ規定ナシ

二十一、質問、官製阿片ハ小賣包裝ニテ工場ヨリ供給セラルルヤ

答 官製阿片ハ工場ヨリ卸賣(前項元賣捌人ニ)ノ包裝ニテ供給セラル

二十二、質問、官製阿片ヲ分配ノ爲メ送出スルニ用フル包裝ノ各容積及重量如何

答 包裝ノ各容積及重量左ノ如シ
 外木箱容積約二・五立方呎
 重量約二四斤

二十三、質問、官製阿片ヲ識別シ得ル何等カ特殊ノ手段アリヤ

答 官製阿片ヲ識別スル手段ハ外觀上ハ前述ノ容器ニ依リ實質ハ分析試験ニ依ル
二十四、質問、小賣分配ノ爲阿片容器ノ最小容積ヲ縮少スルヲ可トセズヤ
答 小賣人ニ販賣スル容器ハ日々ノ小賣數量ヲ基礎トシ小賣上餘リ煩雜ニナラザル程度ニ於テ
容積ヲ縮少スルヲ可トスベシ

吸食特許者ニ容器入トシテ販賣スルトキハ密賣ヲ防止スル必要上多量ノ阿片ヲ所持セシメザ
ル目的ヲ以テ適當ニ容積ヲ縮少スルヲ可トスベシ本島ニ於テハ吸食量三日分ヲ超ユル數量ノ
賣買授受ヲ禁ジ量リ賣リノ方法ニ依ル

二十五、質問、錠劑ノ形ニテ阿片ヲ小賣スルコトハ有利ナリヤ、若シ而リトセバ之レガ從來試ミラ
レザリシ理由如何
二十五ノ(A)、(ビルマニ對スルモノ)錠劑ノ形ニテ試験シタル成績如何

答 錠劑ノ形ニテ小賣スルコトハ有利ナリト思料シ難シ
二十六、質問、官製阿片容器ノ不正變更ヲ防グ爲如何ナル手段ガ執ラレタルヤ、右容器ハ一度開キ
タル時ハ爾後ノ使用ニ適セズヤ

答 官製阿片容器ノ偽造ヲ防グ爲第二十項ニ述ベタル通りノ容器ヲ專賣局ニ於テ製造シ居リ偽
造又ハ一度開罐シタルモノハ絶體ニ再用不可能ナラシム

二十七、質問、阿片吸食者新購入ヲ爲サントスル場合空容器ヲ返戻セザルベカラザルヤ
答 吸食特許者ニ容器入レトシテ販賣セズ

二十八、質問、阿片ノ小賣ハ生阿片ニテセラルルヤ又ハ阿片烟膏ニテセラルルヤ、吸食者ヲシテ自
己使用ノ烟膏ヲ造ラシムルコトハ有利ナラズヤ

答 阿片ハ烟膏トシテ賣下グツツアリ。吸食者ニ於テ自己使用ノ烟膏ヲ生阿片ヨリ製造セシム
ルコトハ密取引取締上不可ナリ

二十九、質問、阿片ノ小賣販賣ハ政府ノ獨專事業ナリヤ、又ハ特許サレタル販賣人ノ手ニテ爲サル
ルヤ
答 阿片ノ小賣ハ許可營業ナリ

三十、質問、前者ノ場合阿片ヲ小賣スル政府ノ官吏ハ如何ナル方法ニテ報酬ヲ受クルヤ
答 阿片ハ政府ニ於テ直接小賣セズ

三十一、質問、後者ノ場合如何ニシテ特許證ヲ與フルヤ特許證ノ様式如何、發給ノ期間如何、且ツ
彼等ニ支拂フ手数料(若シアリトセバ)幾何

答 許可ハ出願者ニ對シ身元調査ノ上身元確實ニシテ信用アル者ニ限り營業ヲ許可ス。許可期
限ナシ。許可證様式別紙ノ如シ。許可ノ手数料ハ金三圓ナリ

三十二、質問、阿片ノ消費ハ官營ナルト特許ナルトヲ間ハズ其ノ小賣店ニテ之ヲ爲スコトヲ許可セラルルヤ

答 阿片ハ小賣店ニ於テ消費スルコトヲ許可セラレズ

三十三、質問、阿片ハ只現金ト引替ノミニテ小賣セラルルヤ

答 阿片ハ阿片烟膏吸食特許鑑札及購買通帳ヲ提出シ購買數量ノ記載ヲ受ケザレバ販賣セラレズ

三十四、質問、各地方ニ於ケル官營及ビ(又ハ)特許小賣店ノ數幾何ナリヤ、過去十箇年間ニ於ケル比較統計表ヲ示サレ度シ若シ官營賣捌所及特許賣店ノ兩者ヲ有スルトキハ別々ニ掲上ノコト

答 特許營業ノ小賣店數ハ別冊臺灣ニ於ケル阿片制度ノ現況中ニ在リ

三十五、質問、小賣店經營ニ關スル特殊規則如何

答 小賣店經營ニ關スル特殊規則左ノ如シ

(イ) 阿片烟膏小賣人ハ阿片烟膏吸食特許者又ハ其ノ使者タルコトノ警察官ノ認證ヲ有スル者ニシテ阿片烟膏吸食特許鑑札及阿片烟膏購買通帳ヲ提示スルモノニ非ザレバ阿片烟膏ヲ販賣スルコトヲ得ズ

(ロ) 阿片烟膏小賣人ハ阿片烟膏吸食特許者ニ阿片烟膏ヲ販賣セントスルトキハ其ノ吸食特

許鑑札及購買通帳ヲ調査シ阿片烟膏吸食特許者ガ現ニ所持スベキ阿片烟膏ト合セテ其ノ吸食量三分(特殊ノ事情アル場合警察官署ノ承認アルモノハ承認ノ範圍内)ヲ超ユル數量ノ阿片烟膏ヲ販賣スルコトヲ得ズ

(ハ) 阿片烟膏小賣人ハ阿片烟膏ヲ販賣シタルトキハ阿片烟膏吸食特許者ノ提示シタル阿片烟膏購買通帳ニ其ノ數量、代價、年月日並ニ自己ノ住所及氏名ヲ記入スルコトヲ要ズ

(ニ) 阿片烟膏小賣人ハ帳簿ヲ備ヘ買入及販賣シタル阿片烟膏ノ數量及代價ヲ其ノ都度記載シ阿片烟膏ノ受拂ヲ明瞭ナラシムルコトヲ要ス

(ホ) 阿片烟膏小賣人ハ許可セラレタル以外ノ場所ニ於テ阿片烟膏ヲ販賣スルコトヲ得ズ

三十六、質問、小賣店數ノ増加ハ現行規則ノ下ニ許可サレ居ルヤ

答 規則ニハ制限ナキモ方針トシテ吸食特許者ノ漸減ニ伴ヒ減少セシム

三十七、質問、阿片吸食ノ爲ノ場所ハ法律ニ依リ許可セラルルヤ、若シ而リトセバ吸食所ハ政府ノ獨專事業ナリヤ又ハ私人ニ特許セラルルモノナルヤ

答 營業トシテ阿片吸食所ヲ開設スルコトヲ禁ズ

三十八、質問、過去十箇年間ニ於ケル官營吸食所、特許吸食所別ニ吸食所ノ數ヲ記サレタシ

答 現行法ニ於テハ阿片吸食所ノ開設ヲ禁止セリ。過去ノ特許吸食所ハ別冊臺灣ニ於ケル阿片制度ノ現況中ニ在リ

三十九、質問、吸食所へノ出入ニ關スル規則如何

答 營業トシテ吸食所ヲ禁止スルコト前述ノ如シ

四十、質問、阿片ノ販賣ハ吸食所内ニテ許可セラルルヤ又ハ消費者ハ自己ノ阿片ヲ持參セザルベカラザルヤ

答 右同シ

四十一、質問、現行ノ立法ハ吸食所ノ現在數ノ増加ヲ許可スルヤ

答 右同シ

四十二、質問、如何ナル官憲ガ小賣店又ハ吸食所ヲ許可スベキ地域ヲ決定スルヤ

答 阿片ノ小賣店ハ地方長官之ヲ許可ス

四十三、質問、官製阿片ハ小賣店以外販賣ノ場合アリヤ若シアリトセバ如何ナル場合ナリヤ

答 小賣店以外ニ於テ阿片ヲ販賣サルコトナシ

四十四、質問、各地方ニ實施ノ小賣値段ハ幾何ナリヤ、過去十箇年間ニ於ケル比較計數ヲ示サレタ

シ

答 第十八問ノ賣下價格ニ一割ヲ加ヘタルモノナリ各地區別ナシ

四十五、質問、如何ナル官憲ガ小賣値段ヲ指定スルヤ、且其ノ算出ノ基礎如何

答 小賣價格ハ總督之ヲ指定ス。算出基礎ハ政府賣下價格ニ小賣營業上必要ナリト認メラルル相當ノ利益ヲ加算セルモノナリ

四十六、質問、特許販賣ノ場合、阿片賣上高ニ對シ幾何ノ利益ヲ販賣人ニ許與スルヤ、此販賣人ハ政府ノ供給スル阿片ノ一定最少量ヲ販賣スルノ義務アリヤ

答 元賣捌人ニハ賣下價格ノ一・三割小賣人ニハ一割ノ利益ヲ與フ。後段ノ場合義務ナシ

四十七、質問、特許販賣人ニ許與セラルル數量ハ一定割當量ナルヤ、若シ而リトセバ如何ナル基礎ノ下ニ割當量ヲ定ムルヤ

答 特許販賣人ニ販賣數量ノ割當ナシ

四十八、質問、特許販賣人ニ對シ如何ナル取締ヲ行フヤ

答 元賣捌人ニ對スル取締ハ左ノ如シ

(イ) 阿片煙膏元賣捌人ハ阿片煙膏小賣人又ハ其ノ使者タルコトノ警察官ノ認證ヲ有スル者ニシテ阿片煙膏小賣鑑札ヲ提示スルモノニ非ザレバ阿片煙膏ヲ販賣スルコトヲ得ズ

(ロ) 阿片煙膏元賣捌人ハ帳簿ヲ備ヘ買入及販賣シタル阿片煙膏ノ數量、代價並販賣シタル阿片煙膏小賣人ノ住所及氏名ヲ其ノ都度記載シ其ノ受拂ヲ明瞭ナラシムルコトヲ要ス

(ハ) 阿片煙膏元賣捌人ハ阿片煙膏ヲ零賣スルコトヲ得ズ

(二) 阿片烟膏元賣捌人ハ許可セラレタル以外ノ場所ニ於テ阿片烟膏ヲ販賣スルコトヲ得ズ
小賣人ニ對スル取締ハ第三十五問回答ノ通り

四十九、質問、阿片ハ人種又ハ國籍ノ差別ナク販賣セラルルヤ

答 阿片ノ販賣ハ規定上人種國籍ノ區別ナキモ實際ハ吸食特許者ニ限ラルルヲ以テ本島人ニ限
ラル(但シ制度確立當初吸食ヲ特許セラレタル少數ノ支那人殘存ス)

五十、質問、阿片吸食者ハ登録セラルルヤ、若シ而リトセバ登録ニ關スル規則如何

答 阿片吸食ハ總督ノ特許ヲ要ス。特許セラレタル者ハ特許者名簿ニ登録ス。登録ニ關スル法
規ナキモ取締上ノ必要ヨリ當然名簿ヲ作製シ居レリ

五十一、質問、阿片吸食ハ官公吏及公署雇人、陸海軍人、警察官及官有車輛ヲ御スル者ノ間ニ許可
セラレ又ハ黙認セラルルヤ

答 阿片吸食ハ官公吏、、、者ニ許可モ黙認モセラレズ

五十二、質問、最近十箇年間ニ於ケル人種別登録阿片吸食者ノ數幾何ナリヤ

答 阿片吸食特許者數ハ別冊臺灣ニ於ケル阿片制度ノ現況中ニ在リ

五十三、質問、阿片ハマタ特許消費者ニ販賣セラルルヤ、若シ然リトセバ規則ヲ掲ゲ特許證ノ様式
ヲ例示サレタシ

答 吸食特許者以外ニ消費者ナシ

五十四、質問、最近十箇年間ニ於ケル人種別ノ特許消費者ノ數幾何ナリヤ

答 該當事項ナシ

五十五、質問、追加吸食者ハ登録ヲ許サルルヤ、新消費者ニ對シ特許證ノ發給ニ關スル規則如何

答 現行臺灣阿片令施行前ノ癮者ヲ除クノ外絶對ニ特許ヲ認メズ

五十六、質問、阿片吸食者ノ入國移住ヲ防止スル爲メ何等カノ手段ガ執ラレ居ルヤ、若シ而リトセ
バ如何ナル手段ガ執ラレラルヤ

答 阿片吸食者ハ入國ヲ許サズ

五十七、質問、阿片消費者ニ割當量指定サレアリヤ、若シ而リトセバ割當量ニ關スル規則如何、最近
十箇年間各人種別割當量吸食者ノ數幾何ナリヤ

答 吸食特許者ニハ吸食量ヲ指定ス。許可量ニ對スル規則ナキモ特許ノ際ノ診斷ニ依リ決定ス。
最近十箇年間ハ新ニ吸食量ヲ指定シタルモノナシ最近ニ於ケル吸食指定量別人員左ノ如シ人
種ハ大部分本島人ニシテ少數ノ支那人アルモ吸食量ニ差別ナシ

阿片烟膏吸食指定量別人員 (昭和四年九月末現在)

一、勿未滿

一四、五九九

一匁以上	八、八五八
二匁未満	
三匁以上	一、五一三
四匁未満	
三匁以上	三三五
四匁未満	
四匁以上	一四〇
五匁未満	
五匁以上	八三
計	二五、五二八

五十八、質問、各小賣購買者ニ許與セラルル阿片ノ最多量ハ幾何ナリヤ

答 吸食特許者ニ購買ヲ許サルル數量ハ三分ノ吸食指定量トス

五十九、質問、許可證ノ不正又ハ不許可使用ヲ防止スル爲如何ナル保護手段ガ執ラレ居ルヤ

答 許可證ハ偽造又ハ變造ノ出來ザル様ニ特別ナル技巧ヲ加ヘ調製ス。亡失等ノ爲許可證ヲ再下付シタルトキハ前許可證ノ無効ヲ告示シテ不正ノ使用ヲ防止ス

六十、質問、登錄セラレ又ハ特許ヲ受ケタル消費者ハ自ら自己ノ供給物ヲ入手セザルベカラザルヤ

答 吸食特許者ハ自ら阿片ヲ購買セザルベカラズ自ら購買シ能ハザルトキハ警察官吏ノ承認ヲ

受ケタル使用者ヲ以テ購買セシム

六十一、質問、消費者ノ所持シ得ル最大量ハ法律ニ依ツテ定メラルルヤ若シ而リトセバ其最大量幾何

答 吸食特許者ノ所持量ハ臺灣阿片令施行規則ヲ以テ規定ス。所持量ハ第五十八問回答ノ購買量ニ同ジ

六十二、質問、婦人ハ阿片ヲ購買シ阿片消費者トシテ登錄シ又ハ特許證ヲ入手シ得ラルルヤ

答 婦人ノ癮者ニモ吸食ヲ特許シ居ルヲ以テ阿片ヲ購買スルコトヲ得

六十三、質問、阿片購買ヲ許サルル消費者ニ對スル最少年齡幾何

答 阿片ノ購入ヲ許サルル者ハ吸食特許者ニ限ル。以前吸食ヲ特許シタル者ノ年齢ハ二十歳以上ナリ

六十四、質問、婦人又ハ未成年者ハ小賣店及吸食所ニ出入ヲ許サルルヤ

答 阿片小賣店ニ出入ヲ禁止シ得ザル實情ニアルヲ以テ禁止セズ。吸食所ナシ

六十五、質問、煙灰ニ關スル規則如何

答 煙灰ハ臺灣阿片令第七條及同施行規則第六條ノ規定スル處ニシテ一般的ニ賣買授受及所有所持ヲ禁止ス



六十六、質問、煙灰ハ獨専事業ニ依ツテ買戻サルルヤ右ノ煙灰ニ對シ支拂ハルル價格幾何
答 煙灰ハ現在專賣局ニ於テ買戻サズ。不正取引ヲ防止スルタメ吸食特許者ヲシテ警察官ノ指
示ニ依リ棄却セシム

六十七、質問、特許販賣人ハ煙灰ヲ政府ニ引渡スベキ義務アリヤ

答 該當事項ナシ

六十八、質問、消費者ハ新タニ購買ヲ許サルルニ先ダチ煙灰ヲ返戻セザルベカラザルヤ

答 消費者(吸食特許者)ハ煙灰ヲ返戻スルコトヲ要セズ警察官吏ノ指示ニ依リ處分(棄却)セザ
ルベカラズ

六十九、質問、生阿片及ビ(又ハ)阿片煙膏ニ關連シ定メラレアル煙灰ノ百分率幾何

答 阿片ニ對スル煙灰ノ百分率ノ定メナシ

七十、質問、煙灰ノ吞食又ハ再製煙灰ノ吸食ハ一般ノ習慣ナリヤ夫ハ阿片ノ吸食ヨリモ一層有害ナ
リト考慮セラルルヤ

答 兩者共ニ習慣ニアラズ

七十一、質問、最近十箇年間ニ於テ年々政府ガ取戻シタル阿片煙灰ノ數量ハ幾何ナリヤ
答 政府ハ煙灰ヲ買戻サズ

七十二、質問、千九百十二年以降毎年生阿片ノ輸入高ハ幾何ナリヤ(噸及キログラムニテ掲ゲラレ
タシ)

答 生阿片ノ輸入數量ハ別冊臺灣ニ於ケル阿片制度ノ現況中ニ在リ(一箱ハ七十二斤)

七十三、質問、千九百十二年以降毎年阿片煙膏ノ輸入高ハ幾何ナリヤ

答 阿片煙膏輸入ナシ

七十四、質問、最近十箇年間ニ於テ又ハ專賣制度開設以來政府ガ生産シタル阿片煙膏ノ數量幾何ナ
リシヤ

答 專賣制度開始以來阿片煙膏ノ製造高ハ別冊臺灣ニ於ケル阿片制度ノ現況中ニ在リ

七十五、質問、最近十箇年間ニ於ケル生阿片ノ小賣高幾何ナリシヤ

答 生阿片ノ小賣ナシ

七十六、質問、最近十箇年間ニ於ケル阿片煙膏ノ小賣高ハ幾何ナリシヤ

答 阿片煙膏小賣高ハ別冊臺灣ニ於ケル阿片制度ノ現況中ニ在ル消費量ニ同ジ

七十七、質問、貴領土ニ入ル生阿片及阿片煙膏ノ輸入高ハ原産國ノ輸出高ト對照サレ居ルヤ、又ハ
輸出ノ場合輸出高ハ仕向國ノ輸入高ト對照サレ居ルヤ

答 生阿片ノ輸入高ト輸出國ノ輸出高トハ輸入證明書制度ニ依リ條約國トハ對照サレツツアリ

阿片烟膏ノ輸入ナシ。輸出ハ兩者共ニ全然ナシ

七十八、質問、最近十箇年間ニ於テ小賣サレタル各種容量ノ容器數幾何

答 容器入ノ儘小賣セズ

七十九、質問、最近十箇年間ニ於ケル阿片ニ依ル總歳入及純歳入幾何

答 最近十箇年間ニ於ケル阿片ヨリ收得セル歳入左ノ如シ

年次	總歳入	純歳入
大正八年	七、六四四、六一七、四〇〇	二、五、六四〇、五五〇
同 九年	七、三〇九、四五九、〇九〇	二、六二九、七一、二、六六〇
同 十年	七、八〇九、八七〇、一九〇	六、四七六、七二七、〇二〇
同 十一年	六、四七八、八七六、二七〇	四、四四一、一五五、七四〇
同 十二年	五、八八七、六五〇、四三〇	三、三一九、〇五一、五四〇
同 十三年	六、八五四、六二六、一八〇	四、〇八九、八九六、六六〇
同 十四年	四、一三三、二七九、四八〇	九七五、二八一、四九〇
昭和元年	四、二五九、三九〇、六四〇	三、三二五、一三八、二九〇
同 二年	四、四二〇、四九七、三五〇	三、二九五、五三九、七五〇
同 三年	四、四二二、六三八、二〇〇	二、八七六、七六五、五九〇

八十、質問、最近十箇年間ニ於ケル一切ノ財源ニ依ル總歳入及純歳入合計額幾何

答 最近十箇年間ニ於ケル一切ノ財源ヨリノ總歳入左ノ如シ

年次	總歳入	純歳入
大正八年	一〇〇、一六五、五四三、三〇八	七、七九五、三五〇、九九二
同 九年	一一〇、二七五、八四八、〇五〇	八、三、四六二、七三五、一一八
同 十年	一一二、〇三五、五八五、七一一	七、一九〇、四三一、八〇一
同 十一年	一一三、四二〇、五二二、二四一	八、二、六三二、七六二、〇六八
同 十二年	一一一、〇九七、五六一、二五二	八、七、〇〇九、八八二、四七四
同 十三年	一一三、六一四、七九七、六八六	八、六、一四一、一四一、三二二
同 十四年	一一九、五五九、八七六、四八四	九、二、八〇六、九二五、八二四
昭和元年	一三一、七七八、〇〇四、七二五	九、七、一六七、七四八、二四一
同 二年	一三八、六二六、八三〇、八八六	九、四、一七三、四二九、五〇三
同 三年	一四七、五二三、八一、二二一	一〇、五、七二三、五八六、四四四

八十一、質問、最近十箇年間ニ於ケル阿片純歳入額ノ一般純歳入合計額ニ對スル百分率幾何

答 最近十箇年間ニ於ケル純阿片歳入額ノ純歳入總額ニ對スル百分率左ノ如シ

年次	百分率	年次	百分率
大正八年	〇・〇四%	大正十三年	四・七五%
同九年	三・一五%	同十四年	一・〇五%
同十年	九・一〇%	昭和元年	三・四二%
同十一年	五・三七%	同二年	三・五〇%
同十二年	三・八一%	同三年	二・七二%

八十二、質問、阿片歳入額中幾分ニテモ特殊ノ用途ニ充當セラルルモノアリヤ又ハ右歳入額ハ凡テ

一般豫算歳出ニ當テラルルヤ

答 阿片歳入ハ一旦總テ一般歳入ニ入レルルモ第十七問ノ經費ニ充當セラル

八十三、質問、阿片吸食ノ終局ノ全禁ヲ見越シ阿片歳入ニ代ルニ他ノ歳入ヲ以テセンガ爲如何ナル

措置方(若シ有リトセバ)講ゼラレ居ルヤ

答 阿片歳入ニ代ルベキ財源トシテハ總歳入ノ自然増收ヲ以テ之ニ充ツル考ナリ

八十四、質問、阿片獨專事業ハ如何ニ組織セラルルヤ

答 總督府專賣局ニ於テ生阿片ヲ輸入シ阿片烟膏吸食特許者ノ消費量ヲ目標ニ烟膏ヲ製造シ之

ヲ各地方廳ヨリ阿片烟膏元賣捌人及小賣人ヲ經テ吸食特許者ニ賣下グルモノトス

八十五、質問、最近十箇年間ニ於ケル又ハ施設當初以來、阿片獨專事業ノ經費ハ幾何ナリシヤ

答 最近十箇年間ニ於ケル阿片專賣ニ要スル經費左ノ如シ

年次	金額	年次	金額
大正八年	七、六一八、九七六、八五〇	大正十三年	二、七六四、七二九、五二〇
同九年	四、六七九、七四六、四三〇	同十四年	三、一四七、九九七、九九〇
同十年	一、三三三、一四三、一七〇	昭和元年	九三四、二五二、三五〇
同十一年	二、〇三七、七二〇、五三〇	同二年	一、一二四、九五七、六〇〇
同十二年	二、五六八、五九八、八九〇	同三年	一、五三五、八七二、六一〇

八十六、質問、阿片獨專事業ニ關スル定期報告列行セラルルヤ、若シ刊行セラレ居ラバ當委員會ニ

最近十箇年間ノ右報告ヲ供與サレ得ベキヤ

答 阿片獨專事業ニ關シ發行セラルル定期報告ナシ

八十七、質問、政府ハ其ノ阿片政策ニ關シ特殊ノ勸告ヲ受ケツツアリヤ、若シアリトセバ如何ナル

筋ヨリナルヤ

答 阿片政策ニ關シテハ東京各省阿片委員會其ノ他専門家ノ意見ヲ参照シツツアリ

八十八、質問、若シ阿片獨專事業ガ大藏省ニ依リ管理セラレ居ラバ其ノ理由如何、右ノ管理ヲ他省

ニ移スコトヲ考慮サレタルコトアリヤ、若シアリトセバ其ノ理由如何
 答 本島ニ於テハ阿片專賣事業ハ專賣局ノ管轄ニテ財務局ノ管轄ニ屬セズ
 八十九、質問、阿片吸食者ハ官營賣捌所ヨリモ寧ロ病院又ハ施藥所ヨリ阿片ノ供給ヲ受クベキコト
 トスル方好マシカラズヤ

答 臺灣ノ實狀ニ徴シ專賣機關トシテ特設シタル小賣店ヨリ買受ケシムルヲ得策ト思料ス
 九十、質問、阿片取締ニ關シ使用セラルル一切ノ書式ヲ各四通宛、又官營工場ニテ使用スル各種容
 積ノ空容器各四箇宛委員會ニ御供與相成リタシ

統計資料ヲ要求スル一切ノ質疑ニ關スル注意、若シ顯著ナル變化ガ一年ヨリ他年ニ亘リ起リタ
 ルトキハ此ノ如キ變化ノ説明如何

答 阿片取締ニ關シ使用スル書式別紙ノ如シ

C 社會的及醫學的性質ノ質問

一、質問、最近三回ノ國勢調査ニ依ルル人口如何、各國籍又ハ各人種別ニ計數記載ノコト

答 最近三回ノ國勢調査ニ於ケル種族別人口比較次表ノ如シ

年	内地人	朝鮮人	本島人	外人	計
大正四年	一三五、四〇一	六	三、三二五、七五五	一八、七六〇	三、四七九、九二二
大正九年	一六四、二六六	六九	三、四六六、五〇七	二四、四六六	三、六五五、三〇八
大正十四年	一八三、七二二	二九七	三、七七五、二八八	三四、一〇一	三、九九三、四〇八

本島人トハ内地人、朝鮮人、外國人以外ノ臺灣在住者ニシテ其ノ九七・三%ハ漢人系、二・七%ハ
 蕃人ナリ外國人トハ主トシテ支那人ナリ

二、質問、最近十箇年間ニ於ケル各國籍又ハ各人種別入國及出國移民ニ關スル統計ヲ希望ス

答 本島ニ於テハ移民トシテハ記載スヘキモノナシ

參考迄ニ支那人ノ最近十箇年間ニ於ケル入國及出國者數ヲ示セバ次表ノ如シ

年	大正八年	同九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	昭和元年	同二年	同三年
入國	六、五五五	七、六五五	二、五五五	八、六六六	七、六六六	六、六六六	七、六六六	八、六六六	九、六六六	六、六六六
出國	五、〇〇〇	五、一七七	七、六六六	七、六六六	六、五五五	六、五五五	五、五五五	六、五五五	七、五五五	四、五五五

註 昭和三年ハ上半期ノミノ計數ナリ

三、質問、支那人ノ主要生業如何

答 本島ニ於ケル支那人ノ主ナル生業ハ雜役苦力、人力車夫ニシテ其ノ他ハ特殊ノ技能ヲ要スル大工、裁縫、理髮、鍛冶、竹細工、金銀細工、時計修繕等ナリ

四、質問、支那人ハ定住者カ又ハ支那人ハ一地方ヨリ他地方ニ移住スルヤ

答 本島在住支那人ノ大部分ハ定住者ニシテ各地ニ轉々スル者ハ比較的少數ナリ

五、質問、支那人ノ居住スル主要地方如何、最近ノ計數ニ依リ各地方ノ員數ヲ記セ

答 支那人ノ居住スル主ナル地方ハ臺北州及臺南州ニシテ高雄州、臺中州等之ニ次グ。各地方ノ現住人口次ノ如シ (千九百二十七年末)

臺北州	臺南州	高雄州	臺中州	新竹州	花蓮港廳	臺東廳	澎湖廳
二〇,四二二	六,三四四	四,六三二	三,五二二	一,四八三	一,二九七	五九六	四七

六、質問、他ノ支那人ハ然ラザルニ何故或ル特定地方ヨリ來リ又ハ特定種族ニ屬スル支那人ハ阿片吸食者ナリヤ

答 本島ニ在住スル支那人ノ阿片吸食ノ習慣ハ出身地又ハ種族ニヨリテ異ナル所ナキモノノ如シ

七、質問、貴領域ニ居住又ハ勞働スル支那人ハ普通支那ノ何レノ地方ヨリ渡來シ且ツ何種族ニ屬スルヤ

答 本島ニ居住スル支那人ハ主トシテ支那福建地方及廣東地方ヨリ渡來ス。前者ハ閩族ニ屬スル後者ハ粵族ニ屬ス

八、質問、他ノ極東諸國ヨリノ移民ノ來住ハ自發的ナリヤ又ハ政府又ハ雇主ガ之ヲ組織スルヤ、若シ雇主ガ組織スルモノトセバ雇主ハ阿片ヲ吸食セザル國又ハ地方ニ勞働者ヲ求メ能ハザルヤ

答 本島ニ渡來スル勞働者ハ總テ自發的ニシテ政府又ハ雇主ニ於テ組織スルモノナシ

九、質問、貴領域ノ支那人人口ノ内何割ガ阿片吸食者ナリヤ、總人口竝ニ成年ノ男子ニ對シ各別ニ百分率計數ヲ希望ス

答 在留支那人、人口中吸食特許者ハ〇・〇一ナリ。成年男子ニ對スル割合ハ〇・〇二ナリ

十、質問、阿片吸食ノ全禁ハ勞働者ノ供給ニ影響スルヤ、且ツ貴領域ガ外來勞働者ニ依頼スル程度如何

答 阿片吸食者ノ全禁ハ勞働者ノ供給ニ影響セズ。本島ニ於ケル勞働力ニ對スル需要ハ本島内ノ勞働力ヲ以テ充分ニ充スルコトヲ得ルヲ以テ毫モ外國ヨリ渡來ノ勞働者ニ依頼スルコトヲ

要セズ

十一、質問、阿片癮者ノ所得力損失如何

答 癮者ハ活動力減退シ特ニ勞働能力ニ於テ然リトス

十二、質問、阿片吸食者ノ財政状態ノ良否竝阿片ノ價格ノ高低ニ連レテ生スル消費ノ變遷ヲ比較シ

タルコトアリヤ

答 阿片吸食者ハ一般ニ財政困窮セリ。阿片ノ價格ノ高低ニ連レテ生ズル消費ノ變遷ヲ比較シ

タルコトナシ

十三、質問、阿片吸食習慣ハ一般ニ勞働者階級ヲ貧困ナラシメ且ツ吸食者ノ家族ヲ困窮ナラシムル

ヤ

答 阿片吸食習慣ハ一般ニ勞働者階級ヲ貧困ナラシメ且ツ吸食者ノ家族ヲ困窮ナラシム

十四、質問、阿片吸食ハ(イ)他ノ麻薬ノ習癖(ロ)アルコールノ使用ヨリモ低廉ナル習慣ナリヤ

答 阿片ノ吸食ハ麻酔劑及アルコールノ使用ヨリハ稍多クノ經費ヲ要ス

十五、質問、社會的娛樂ノ排除スルコトハ阿片吸食ノ習癖ニ對シ責任アリヤ

答 社會的娛樂ノ缺陷ハ阿片吸食ノ習癖ニ對シ責任ナシト思料ス

十六、質問、慰安ヲ得ルコトヲ容易ナラシムレバ習癖ノ程度ヲ減殺スルヤ又慰安ノ種類如何

答 習癖ノ程度ヲ減殺スル慰安ハ殆ド想像シ得ラレズ

十七、質問、陷癮ガ自發的ナリトセバ夫ハ如何ナル慾望ノ満足ヲ求ムルニ在リヤ又如何ナル結果ヲ

得ントスルニ在ルヤ

答 阿片ノ吸食ハ痛苦又ハ精神の苦痛ヲ忘ルルガ爲或ハ享樂ノ爲吸食セラルルモノノ如シ

十八、質問、阿片習癖ハ矯正シ得ルヤ若シ然リトセバ(イ)自發的癮者及(ロ)其他ノ場合ノ最良ノ矯

正方法如何

答 阿片習癖ハ醫學上ハ總テ矯正シ得ルモ實際ハ習癖輕ク殊ニ不治ノ合併症等ナキモノニアラ

ザレバ矯正治療ノ效果ヲ保持スルコト困難ナリ矯正ノ最良方法ハ必要ノ場合ハ權力ヲ用ヒ適

當ニ設備セル病院ノ如キ所ニ收容シ次ノ如キ漸減療法ニ依ル

漸減療法トシテハ先ヅ阿片吸飲量ニ相當量ノ「モルヒネ」又ハ催眠劑ヲ使用シ次デ之ヲ次第ニ

減量シツツ禁斷症狀ヲ豫防乃至制止シ得ベキ藥劑例ヘバ「アトロピンスコポラミン」、「ロート

エキス」、「重炭酸ナトリウム」、「アンチピリン」、「アスピリン」、「鹽酸キニーネヅエロナール

アダリン」、「プロムラル」等ヲ適當併用スルニアリ

十九、質問、阿片吸食者ノ習癖ヲ矯正スル爲政府又ハ私人團體ニ於テ努力サレツツアリヤ

答 政府ニ於テ制度當初ヨリ努力セシ所ナリシガ以前ハ單ニ事實上ノ措置ニ過ギザリシガ昭和

四年一月臺灣阿片令ヲ改正シ總督ノ權限ニ依リ行政處分ヲ以テ矯正スル政策ヲ樹立シ現ニ實行シツツナルガ其ノ成績頗ル顯著ニシテ更ニ完全ナル設備ヲ計畫中ニ在リ將來ハ矯正シ得ベキ者ハ遺憾ナク矯正シ斷禁ノ完全ヲ確保促進センコトヲ期セリ

二十、質問、最初ノ矯正ガ完全ニ行ハレタル後ニ於テ再發ヲ防止センガ爲メ精神病學の療法ニ依リ患者ニ意思力ヲ與フル必要アリヤ

答 本人ノ意思薄弱ニシテ習癖ヲ作ル虞レアル者ニ關シテハ自制セシムル意思力ヲ與フル要アリ

二十一、質問、阿片習癖ニシテ矯正シ得ルトセバ癮者一人當矯正費概算幾何

答 一人當單ニ藥品代トシテハ十五圓位ナルモ施設一切ノ經費ヲ加算スルトキハ人員ニ對スル設備如何ヨリテハ不定ナルモ本島ノ施設ニ於テハ一人當最小百五十圓乃至二百圓ノ經費ヲ要ス

二十二、質問、矯正ノ可能性ト年齢ノ關係如何

答 癮癖ニ對スル醫學的矯正ノ點ヨリ年齢關係ハ影響ナキモ高齢者ハ矯正ノ意思弱ク多ク矯正スルコトヲ欲セズ從テ矯正ニ對スル努力ヲ缺キ且ツ矯正ニ障礙アル合併症アル者多キヲ以テ實際ハ矯正困難ナリ

二十三、質問、如何ナル型ノ習癖ハ矯正シ得ルヤ

答 重症肺結核、重症喘息、胃癌及其他慢性胃病等ノ持病ヲ有スル以外ノ者ハ比較的矯正容易ナリ

二十四、質問、診斷ニ依リ癮者ナルコトヲ發見シ得ルハ習癖ノ如何ナル程度ニ於テナリヤ

答 癮者ナリト認ムル習癖ノ程度ハ突然阿片ノ吸食ヲ絶テタル場合ニ所謂禁斷症狀ヲ表ハス深度ニ依ルモノナリ

二十五、質問、阿片ハ精神の仕事を對スル興奮劑ト見做シ得ルヤ

答 阿片ハ癮者ニアリテハ精神の仕事を對スル興奮劑トナリ得ルモノノ如シ

二十六、質問、阿片ハ手仕事ニ對スル興奮劑ト見做シ得ルヤ

答 肉體の動作ニ在リテモ亦同上

二十七、質問、保險會社ハ被保險者タラントスル者ガ阿片吸食者ナリヤ否ヤヲ酌量スルヤ

答 大多數ノ保險會社ハ被保險者ガ阿片吸食者ナル場合ニ於テハ保險契約ヲ締結セズ稀ニハ契約ヲ結ブモノアレドモ阿片吸食者ニ對シテハ特別ノ取扱ヲ爲スヲ通例トス

二十八、質問、當事者ガ自ラ求メント欲スル場合合習癖ナキ生阿片又ハ阿片烟膏ノ代用物アリヤ
答 生阿片及阿片烟膏ニ代リテ習癖ヲ伴ハザル代用物ナシ

二十九、質問、阿片吸食習慣ニ代フルニ夫ヨリモ害少キ習慣ヲ以テスル一般的可能性アリヤ

答 阿片吸食習慣ニ對シ害少キ習慣ヲ以テ代フルモノナシ
三十、質問、阿片吸食者ガ吸食ノ目的ノタメノ阿片ノ支給ヲ奪ハレ又ハ制限セラルル場合(イ)他ノ麻
藥(ロ)アルコール又ハ(ハ)他ノ興奮劑ニ轉換スルヤ

答 阿片吸食者ガ其ノ吸食制限サルル場合「モルヒネ」又ハ「ヘロイン」ノ使用ニ轉換セラルルコ
トアリ

三十一、質問、阿片吸食ノ有害ナル影響ニ關スル貴領域内醫學者ノ輿論如何

答 阿片吸食ノ有害ナル影響ニ關シテ醫業者間ニ異論ナシ

三十二、質問、アルコールノ消費ハ阿片吸食ヲ誘フ傾向アリヤ

答 アルコールノ使用ハ阿片吸食ヲ誘フモノニアラズ

三十三、質問、教育的手段ニ依リ阿片吸食ヲ阻止スル措置ガ講ゼラレ居ルヤ、若シ斯ノ如キ措置ガ
講ゼラレ居ラザルニ於テハ其理由ヲ示サレ度ク又斯ノ如キ措置ニ出ヅルハ好マシカラズトスル
場合特ニ然リ

答 教育手段トシテ阿片吸食ヲ阻止スル措置トシテハ兒童ニ阿片ノ害毒ヲ説キ阿片吸食ノ惡習
慣ヲ作ラシメザル様訓育シツツアリ

三十四、質問、右ノ措置ニ對スル輿論ノ反響如何

答 前項ノ措置ニ對シ輿論ノ共鳴ヲ得タリ

三十五、質問、阿片吸食ハ遺傳性ノ惡習ナリヤ否ヤ

答 阿片吸食ハ遺傳性ノモノニアラズ

三十六、質問、吸食者ヲシテ阿片ニ代フルニ煙草ヲ以テセシムル可能性ニ對シ考慮サレタルコトス
リヤ、若シ然リトセバ各人種別ニ其成績如何ナリシヤ

答 吸食者ヲシテ阿片ニ代フルニ煙草ヲ以テセシムルコトヲ考慮シタルコトナシ

三十七、質問、阿片禁止運動ニ關心ヲ有スル禁煙協會又ハ他ノ團體アリヤ

答 阿片禁止運動ニ關係スル協會及團體ナシ

三十八、質問、阿片吸食並阿片禁止運動ニ對スル一般住民ノ態度如何

答 島民ハ一般ニ阿片吸食ヲ害毒視スルガ故ニ政府ノ漸禁政策ニ賛成シ其ノ顯著ナル功績ヲ稱
讚シ居レリ

三十九、質問、阿片ノ消費ガ法律ニ依リテ許サレ居ルノ事實ハ延イテ其ノ使用ニ對スル輿論ノ反對
ヲ減殺セザルヤ

答 阿片害毒ノ防止ニ關スル教育ト警察取締トヲ勵行シ而シテ吸食ノ已ムヲ得ザル者ニ限り吸
食ヲ特許セバ社會的阿片ノ害毒觀ヲ弱ムルコトナシ

四十、質問、貴領域ニ於ケル阿片問題ニ關スル輿論ハ如何ナル方法ニテ之ヲ聞キ得ルヤ
 答 阿片問題ノ輿論ハ言論機關及種々ノ會合ノ機會ニ於テ聞キ得ベシ

四十一、質問、千九百十七年乃至千九百十七年間ニ於テ支那ニ於ケル阿片禁止ガ貴領域ノ支那人ニ對シ如何ナル影響ヲ與ヘタルヤ
 答 支那ニ於テ阿片吸飲禁止後ハ支那人ハ新ニ吸食ヲ特許セラレザルニ至レリ

D 不正取引

一、質問、最近十箇年間ニ於テ年々沒收サレタル生阿片ノ數量幾何ナリシヤ、若シ入手シ得ベクン

バ原供給地ニ關スル情報ヲ希望ス

答 最近十箇年間ニ於ケル生阿片ノ沒收數量(罌以下四捨五入)左ノ如シ

大正八年	一	罌	大正九年	二	罌
同十年	一	罌	同十一年	一	罌
同十二年	一	罌	同十三年	八	罌
昭和十四年	六	八罌	昭和十五年	一	罌
昭和十四年	一	五罌	昭和十六年	二	六罌

備考 昭和元年及二年ハ沒收數量調査中ニ付不正取引檢舉數量ヲ計上セリ

原供給地ハ支那國ナリ

二、質問、最近十箇年間ニ於テ年々沒收サレタル烟膏ノ數量幾何ナリシヤ若シ入手シ得ラルルニ於

テハ原供給地ニ關スル情報ヲ望ム

答 最近十箇年間ニ於ケル阿片烟膏ノ沒收數量(罌以下四捨五入)左ノ如シ

大正八年	五	八罌	大正九年	三	二罌
同十年	四	三罌	同十一年	五	二罌
同十二年	三	七罌	同十三年	九	二罌
昭和十四年	二	六罌	昭和十五年	五	四八罌
昭和十四年	六	九六罌	昭和十六年	一	四五八罌

備考 昭和元年及二年ハ沒收數量調査中ニ付不正取引檢舉數量ヲ計上セリ

三、質問、沒收ノ行ハレタル主要中心地如何

答 沒收ノ行ハルル主要中心地ハ臺北、臺南、基隆、安平、高雄、鹿港其ノ他西海岸諸港

四、質問、阿片密輸入者ガ經由スルモノトシテ判明シ又ハ想像セラレ居ル主要經路如何

答 阿片密輸入者ノ經由スル主要經路ハ支那國ナリ

五、質問、阿片密輸入ニ從事シタリトシテ知ラレタル人々ノ國籍及住所如何

答 阿片密輸入ニ從事スルコトノ判明セル人物ノ國籍及住所ハ大部分ハ支那國ナリ

六、質問、最近十箇年間ニ於テ正當ナル阿片ノ價格ニ比較シ各地方ニ於ケル密輸阿片ノ平均價格如何
答 密輸入阿片ノ價格ハ官製烟膏ト大差ナシ(密輸入阿片ハ品質粗悪ナリ)

七、質問、大規模ニ密輸ニ従事スル團體ニシテ判明セルモノアリヤ斯種ノ團體ガ其ノ密輸行為ノ資
金運轉ノ爲銀行ヲ利用スルコト判明シ居レリヤ且ツ之ヲ防止スル爲措置ヲ講ジ得ルヤ
答 大規模ニ密輸ニ従事スル團體ハナシ

八、質問、如何ニシテ不正阿片ガ消費者ニ分配セララルルヤ
答 不正阿片ノ消費者ニ分配サルル事情左ノ如シ

大部分支那人ニ依リ密輸入セラレ、密輸入後ハ本島人ニ依リテ密吸食者ニ密賣セララルル狀況
ナリ。密輸入及密賣買ノ方法ハ想像モ著カザル巧妙ヲ極メ又其ノ犯罪ヲ檢舉サレシ場合ニモ
決シテ其ノ取引ノ事實ヲ自白セズ住所不明ノ支那人ヨリ買受ケタルモノナリト云フヲ常トス
密輸入ノ巧妙ナル手段ノ事例ハ別冊臺灣ニ於ケル阿片制度ノ現況中ニアリ

九、質問、密輸ヲ防止スル爲政府ニ依リ如何ナル措置ガ講ゼラレタリヤ且亦講ゼラレントシツツア
リヤ

答 密輸出入ノ取締ハ警察官憲ト税關官吏ト協力努力シツツアリ詳細ハ別冊臺灣ニ於ケル阿片制
度ノ現況中ニ在リ

十、質問、不正阿片ノ競争ニ拮抗スベク政府ニ依リ如何ナル措置ガ講ゼラレタリヤ亦講ゼラレント
シツツアリヤ
答 吸食特許者ニ不正阿片ヲ吸食セシメザル一手段トシテ特ニ品質ヲ良好ニシ又價格ノ點ニ於テ
常ニ考慮ヲ拂ヒツツアリ

十一、質問、不正取引ニ關シ各地方ニ於ケル情勢如何

答 各地方廳ニ於テ不正取引ノ取締ニ就テハ特ニ密輸入ノ取締ニ力ヲ竭シ相互連絡ヲ保持シ十二
分ノ努力ヲ拂ヒツツアリ

十二、質問、政府ノ防止事務掛ノ組織如何、右組織ハ最近擴張サレタルヤ、最近十箇年間ニ於ケル
經費幾何ナリヤ、右經費ハ阿片歳入ヨリ充當セララルヤ

答 取締機關ノ組織ハ別冊臺灣ニ於ケル阿片制度ノ現況中ニ在リ、最近ニ於テ組織ヲ擴張スル計
畫中ナリ

最近十箇年間ニ於ケル經費ハ各年大差ナク年額約二百二、三十萬圓ナリ右經費ハ阿片歳入ヲ
以テ充當ス

十三、質問、不正阿片中沒收ヲ免ルルモノノ概算數量幾何且ツ如何ニシテ此ノ概算數量ヲ得ルヤ
答 不正阿片中沒收ヲ免レタルモノノ概算數量詳ナラズ

十四、質問、不正取引ニ從事シ且ツ不正阿片ノ消費ニ對スル刑罰如何
答 阿片ノ不正取引及不正消費ニ對スル刑罰ハ臺灣阿片令第十三條及同施行規則第四十六條以下ニ在リ

十五、質問、現行阿片取締制度ノ結果ハ不正取引ノ増加ヲ來シタリヤ減少ヲ來シタルヤ
答 阿片取締ノ現行制度ハ阿片ノ不正取引ヲ防止スルニ充分效果アリト認ム

十六、質問、政府ハ阿片吸食ノ有效ナル取締ノ可能性ト不正取引トノ關係ヲ如何ニ考慮スルヤ

答 不正取引ハ密吸食癮者ヲ生ゼシムル有力ナル原因ナリト思考スルモ本島阿片取締制度ノ大局ニハ大ナル影響ナシ

十七、質問、貴領域内ニ居住スル者ガ他國ニ於テ遂行シタル阿片ノ不正取引ヲ罰シ得ル權政府ハ立法的措置ヲ執リタルヤ

答 目下考究中ナリ

十八、質問、其ノ如何ナル程度ナルヲ問ハズ税關又ハ防止事務掛ニ於テ收賄行為アリトセバ此ノ種行為ヲ防止スル爲如何ナル措置ヲ講ゼラレタリヤ

答 阿片取締當該官憲ノ不正行為ニ對シテハ特ニ刑罰ノ加重ヲ規定ス

十九、質問、限定量阿片消費者ハ追加供給ヲ密買ニ求メツツアリヤ

答 吸食特許者ニ對シテハ適當ニ吸食量ヲ指定シ居ルヲ以テ吸食量不足ノ爲阿片ヲ密買ニ求ムルコトナシ

二十、質問、密輸ニ關スル情報ヲ提供スルモノニ賞與ヲ與フルヤ、其ノ規則如何

答 密告者ニハ其ノ價額ノ半額ニ相當スル金額ヲ與フル規則ナリ

二十一、質問、官製阿片ト密輸阿片ト品質ニ大體如何ナル差異(若シアリトセバ)アリヤ

答 密輸入阿片ハ官製阿片ニ比シ品質粗惡ナリ

二十二、質問、官製阿片ノ使用ハ密輸阿片ノ使用ヨリモ害少シト思考セラルルヤ

答 官製阿片ノ使用ハ密輸入阿片使用ヨリモ害少シト考慮ス

二十三、質問、不正取引取締官憲ノ沒收シタル生阿片及烟膏ノ處分ニ關スル規則如何

答 沒收シタル生阿片及烟膏ハ總テ國庫ニ歸屬スル規則ナリ

二十四、質問、政府獨專事業ノ阿片ハ一般ニ工場内ニ於テ製造セラルルヤ、不正阿片ノ製法如何

答 政府賣下ノ阿片ハ總テ工場内ニ於テ製造ス。本島ニ於テ不正取引サルル阿片ハ主トシテ支那ヨリ密輸入サルル阿片烟膏ニシテ其ノ製造法詳カナラズ

E 一般的質問

一、質問、貴地方ニ於ケル阿片吸食ト阿片吞食トノ關係如何
 答 大部分吸食ニシテ吞食ハ極メテ少數ナリ

二、質問、罂粟ノ栽培ハ如何ナル地方ニテモ許可セラレルヤ且ツ其ノ條件如何
 答 罂粟ノ栽培ハ絶對ニ許可セラレズ

三、質問、最近十箇年間ニ於ケル罂粟栽培地減少面積如何且ツ栽培面積ノ減少ト生産ノ減少トノ關係如何
 答 罂粟栽培面積ナシ

四、質問、最近十箇年間ニ於テ罂粟ノ正當生産(若シ有リトセバ)ハ如何
 答 罂粟ノ生産ナシ

五、質問、罂粟ハ不正ニ栽培セラレルヤ若シ而リトセバ如何ナル範圍ニ且ツ如何ナル地方ニ於テナリヤ
 答 不正栽培ナシ

F 調査ニ關係アル一般經濟及其ノ他ノ問題

一、質問、貴領土ノ主要ナル地文學的及地理的特徵如何
 答 本島ハ帝國ノ最南端ニ位シ百餘海里ヲ隔テテ支那大陸ノ福州、廈門地方ト相對ス、海岸ハ遠淺

ニ、質問、主要ナル海陸交通機關如何
 答 陸上交通機關ノ主ナルモノハ鐵道、軌道並ニ自動車トス
 海上交通機關ノ主ナルモノハ政府ノ命令航路船及戎克船ナリ命令航路次ノ如シ

- 基隆神戸線 高雄 天津線
- 高雄横濱線 臺灣朝鮮滿洲線
- 沿岸線 基隆 爪哇線
- 基隆香港線 香港 海防線
- 高雄廣東線 基隆 廈門線

三、質問、最近十箇年間ニ於ケル歳入及歳出ヲ記セ(豫算及決算)

年次	歳	
	豫算	決算
大正八年度	七〇、三〇五、四五二、〇〇〇	一〇〇、一六五、五四三、三〇八
同九年度	九九、八一九、一九三、〇〇〇	一二〇、二七五、八四八、〇五〇
同十年度	一一四、九五六、八五九、〇〇〇	一二〇、〇三五、五八五、七一三
同十一年度	一〇六、〇〇二、〇三四、〇〇〇	一三三、四二〇、五二二、二四一

年次	歳入		歳出	
	算	決	算(實算)	出
同十二年	九九八八三、六四八〇〇〇	七二、三三三、一三八、二二八	一一一、〇九七、五六一、二五二	
同十三年	一〇一、一〇二、一四〇、〇〇〇	一〇〇、七〇五、九三三、〇〇〇	一一三、六一四、七九七、六八六	
同十四年	九〇、三二七、九八八、〇〇〇	一一四、九五六、八五九、〇〇〇	一一九、五五九、八七六、四八四	
昭和元年	九九、七七五、二六六、〇〇〇	一〇六、〇〇二、〇三四、〇〇〇	一一一、七七八、〇〇四、七二五	
同二年	一一、五九九、二〇二、〇〇〇	九九、八八三、六四八、〇〇〇	一一三、八六二、六八三、〇八六	
同三年	一一、七八七、二六三、〇〇〇	一〇〇、八三九、五九四、〇〇〇	一一四、七五三、八一、二一一	
大正八年	七〇、三〇五、四五二、〇〇〇	九〇、一三七、七二一、〇〇〇	七二、三三三、一三八、二二八	
同九年	一〇〇、七〇五、九三三、〇〇〇	九九、七七五、二六六、〇〇〇	九五、三三四、一一、〇二四	
同十年	一一四、九五六、八五九、〇〇〇	九九、七七五、二六六、〇〇〇	九四、五一九、六三五、二四七	
同十一年	一〇六、〇〇二、〇三四、〇〇〇	九九、八八三、六四八、〇〇〇	九六、三四六、五一六、三三二	
同十二年	九九、八八三、六四八、〇〇〇	九九、八八三、六四八、〇〇〇	八七、七三八、九五〇、八七八	
同十三年	一〇〇、八三九、五九四、〇〇〇	九九、八八三、六四八、〇〇〇	八六、八六一、八四七、〇二六	
同十四年	九九、一三七、七二一、〇〇〇	九九、八八三、六四八、〇〇〇	八七、七七〇、八七五、〇六八	
昭和元年	九九、七七五、二六六、〇〇〇	九九、八八三、六四八、〇〇〇	九一、九四〇、五九八、二五五	
同二年	一一、五九九、二〇二、〇〇〇	九九、八八三、六四八、〇〇〇	一〇一、五三三、二八五、五三六	
同三年	一一、七八七、二六三、〇〇〇	九九、八八三、六四八、〇〇〇	一〇九、一〇九、二八〇、〇一〇	

四、質問、課税ノ主要財源如何

答 課税ノ主要財源(年額五十萬圓以上ノモノヲ掲ク)左ノ如シ

地租、砂糖消費税、酒精税、所得税、關稅

五、質問、一切ノ消費税ニ關スル詳細ナル情報ヲ供與サレタシ

答 本島ニ於ケル消費税ノ種目ハ砂糖消費税、織物消費税及酒精税ノ三種トス

一、砂糖消費税

明治二十九年清政府時代ノ税率ヲ參酌シ糖業税則ヲ發布シ蔗車税(蔗車一臺ニ付毎年三圓)ト砂糖税(白糖百斤三十五錢)ト課スルコトセルガ三十四年十月砂糖消費税法ヲ施行スルニ當リ該規則ハ之ヲ廢止セリ

砂糖消費税法施行後ハ全ク内地ト同一ノ税率ニ依リ課税シ其後數回ノ改正アリテ今日ニ至レリ該收入税額ノ消長ニ就テ見ルニ前記糖業税則時代ハ一箇年二十六萬圓ナリシ處三十五年ニハ七十萬圓、四十年ニハ二百萬圓、四十三年ニハ一躍一千二百萬圓ニ達セルモ四十四年度以後ハ連年暴風雨ニ依リ甘蔗ノ被害甚シク爲メニ産糖額著シク減少シ大正元年度ニハ七百萬圓トナリ更ニ二年度ニハ五百萬圓ニ降レリ而シテ三年度以降ハ内地ニ於テ消費スル砂糖ハ凡テ内地ニ於テ徵税スルコトトナリタル爲臺灣ニ於ケル收入ハ島内消費ノミニ局限セラレ僅ニ

八十萬圓ニ過ギザル状態トナレリ。今砂糖消費ノ税法施行後ノ各年ニ於ケル検査高ト收入額ヲ表示スレバ左ノ如シ

消費税法施行後ノ検査高ト收入税額

年度又ハ年	検査高			收入税額
	再製糖	分蜜糖	含蜜糖	
明治三十五年				七十九萬圓
同 三十六年				六十九萬圓
同 三十七年				六十九萬圓
同 三十八年				六十九萬圓
同 三十九年				六十九萬圓
同 四十年				六十九萬圓
同 四十一年				六十九萬圓
同 四十二年				六十九萬圓
同 四十三年				六十九萬圓
同 四十四年				六十九萬圓
大正二年				六十九萬圓

年度又ハ年	検査高			收入税額
	再製糖	分蜜糖	含蜜糖	
明治三十四年				七十九萬圓
同 三十五年				六十九萬圓
同 三十六年				六十九萬圓
同 三十七年				六十九萬圓
同 三十八年				六十九萬圓
同 三十九年				六十九萬圓
同 四十年				六十九萬圓
同 四十一年				六十九萬圓
同 四十二年				六十九萬圓
同 四十三年				六十九萬圓
同 四十四年				六十九萬圓
大正二年				六十九萬圓

備考 一、検査高ハ年別、收入税額ハ年度トス
 二、年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄、年別ハ前年十一月一日ヨリ其ノ年十月三十一日迄トス但シ昭和元年以前ハ十一月一日ヨリ翌年十月末日迄トス



二、織物消費税

明治三十七年三月ノ非常特別税法中ノ毛織物消費税ノ實施ニ始マリ後其ノ他ノ織物ニモ及ボシタルガ四十二年四月一日ヨリ織物消費税法ヲ勅令ニテ本島ニ施行シ今日ニ至レリ、其ノ税率ハ大正十五年三月迄ハ割一的ニ價格ノ一割ナリシガ四月一日ヨリ綿織物及綿織物ト看做サレタル織物ハ課税セザルコトニ改メラレタリ課税品ノ大部分ハ輸入織物ニシテ大正十一年度以前ハ年々ノ収入二十萬圓以下ナリシモ大正十二年度ハ輸入税免除ノ關係上三十萬圓餘ノ收入アリ、大正十四年度ハ二十萬圓ニ減少シ、昭和元年度ハ税法改正ノ爲九萬二千圓、同三年度ハ五萬五千圓ニ減少セリ

三、酒精税

大正十一年酒類專賣令ノ實施ト同時ニ臺灣酒精令施行セラレ島内ニ於テ消費スル酒精ハ政府ノ專賣ニ屬スルコトニ規定セリ酒精分九十度以上ノ酒精及ビ酒精含有飲料ノ製造ハ總テ從來ト變ルコトナク民業トシ各製糖會社ハ依然糖蜜ヲ原料トシ繼續シテ酒精ヲ製造セリ大正十五年四月ヨリ税率ヲ引上ゲラレタルト其ノ他ノ事情ニテ昭和元年度ハ噸ニ增收トナリタルモ、二年度以降ハ略平常ニ復シタルモノノ如シ左ニ其ノ査定高及ビ收入税額ヲ示ス

年次	査定石高	收入税額	摘要
大正十二年度	一〇八、二六六	三、六三七、九八五	査定年度ハ三月一日ヨリ翌年二月末日迄
同十三年度	一二八、九四一	二、八三六、三六六	
同十四年度	一四三、三六三	三、二九六、五三二	
昭和元年度	一四六、〇九四	五、一九六、三八一	
同二年度	一三、二四五	三、〇四一、四六二	
同三年度	一七、九一七	四、一六九、〇九八	

六、質問、如何ナル追加課税ニ依リテ現在阿片ヨリノ歳入ガ置換エ得ラレタルヤ

答 阿片歳入ノ漸減額ニ對シテハ特ニ追加課税ニ依リテ之ヲ補填スルコトナク一切ノ歳入ヨリ生ズル自然增收ヲ以テ補充シ得タリ

七、質問、住民ノ主要生活方法如何

答 本島住民ノ職業ヲ大別シテ見ルニ其ノ最主ナルモノハ農業ニシテ工業、商業、交通業等之ニ次グ

八、質問、公衆健康ト衛生ニ關スル情勢如何

答 本島ニ於ケル一般衛生狀況ハ概ネ良好ナリ「チフス」其ノ他地方病タル「マラリア」ハ各地ニ蔓

延島民ノ保健ヲ害スルコト尠カラザル狀況ナリシガ政府ハ特ニ之ガ防遏ニ力ヲ竭シツツア
ル所ニシテ其ノ效果頗著ナルモノアリ就中「マラリア」ハ今ヤ都市ニ於テハ殆ド根絶シ僻
地ニ於テモ年ト共ニ減少シツツアリ、サレバ一般ノ死亡率減少シ出生率漸次増加ノ傾向ヲ示
セリ

九、質問、小兒及婦女ノ勞働ヲ社會的ニ保護スル爲メ何等立法的又ハ其ノ他ノ手段行ハレ居ルヤ

答 特ニ小兒及婦人ノ勞働ニ對スル保護施設トシテハ公設産婆、託兒所等ノ外特記スベキモノナ
キモ一般的勞働者保護ノ施設トシテ公私職業紹介所、公設住宅、無料宿泊所、簡易食堂及授
産場等アリ

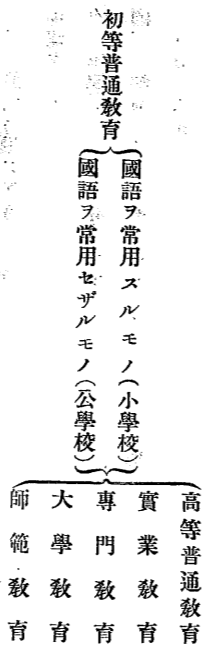
十、質問、無學ノモノノ百分率如何

答 國語ヲ解セザル者ノ率ハ約七〇%ニシテ其ノ他平易ナル漢文ヲ解スル者相當多數ニ上ルベキ
モ詳カナラズ

十一、質問、教育制度ノ特色如何

答 臺灣ノ現行教育制度ハ大正十一年二月ノ制定ニ係ルモノニシテ其ノ主眼トスル所ハ從來ノ如
キ内地人教育本島人教育トヲ全然區別スルノ主義ヲ撤廢セシノミナラズ教育上ニ於テハ内地
人臺灣人ト云フガ如キ種族的ノ稱呼ヲ認メズ只國語ヲ常用スルカ否カニ依ツテ區別シ而カモ

其ノ區別モ初等普通教育ニ止メ中等教育以上ニハ何等ノ區別ヲ設ケザルコト及臺灣ノ教育制
度モ事情ノ許ス限リ内地ノ教育制度ニ依ルヲ原則トスルニ在リ
今之ヲ圖示セバ左ノ如シ



G 阿片吸食取締ニ關スル一般情勢ハ或程度迄生阿片及
烟膏以外ノ麻藥ノ取締及不正取引ニ關係ヲ有スルヲ
以テ左記情報ヲ入手シタシ

一、質問、麻藥取締制度ノ梗概ヲ承知シタシ

答 麻藥取締制度ノ梗概ハ別冊臺灣ニ於ケル阿片制度ノ現況ニ附記シアリ

二、質問、生阿片及烟膏以外ノ麻薬ノ一般取締ニ關スル法令及規則如何(各法規四部所望)

答 右ニ同シ

三、質問、(イ)生阿片及烟膏(ロ)其他ノ麻薬ノ不正取引ガ全然禁止サレ得ルトセバ政府ハ何時阿片吸食ヲ全禁スルコト可能ナリト思惟スルヤ

答 今後三十年以内ニシテ阿片ノ吸食ヲ禁止シ得ベシト思考ス

四、質問、政府ハ他ノ麻薬ノ不正取引ト阿片吸食ノ取締トノ關係ヲ如何ニ思惟スルヤ

答 阿片ノ吸食ニ換フルニ「モルヒネ」使用ヲ以テスルコトアルハ既述ノ通りニシテ從ツテ阿片ノ取締ヲ嚴重ニスルバ自然麻薬ノ不正取引ガ行ハルルコトトナルヲ以テ阿片ノ取締ト共ニ麻薬ノ不正取引ノ取締ヲ考慮セザルベカラズ

五、質問、阿片取締ノ實施ハ他ノ麻薬ノ不正取引ノ増加ヲ來シタルヤ

答 統計的ニ増加シタリト謂フヲ得ザルモ、増加ノ傾向アルモノノ如シ

六、質問、印度大麻ノ使用ト阿片吸食ノ取締トノ間ニ何ラカノ關係アリヤ若シ有リトセバ左記事項ヲ問フ

(イ) キヤナピス、インディカ(印度大麻)ノ栽培ハ如何ナル條件ニテ亦如何ナル地方ニ於テ許サルルヤ

(ロ) 印度大麻ノ正當生産(若シ有リトセバ)如何

(ハ) 印度大麻ハ不正ニ栽培セラルルヤ且ツ若シ然リトセバ如何ナル程度ニ亦如何ナル地方ニ於テナリヤ

(ニ) 印度大麻製劑ハ獨專事業ニ依リテ分配セラルルヤ、若シ然リトセバ如何ナル條件ノ下ニ於テナリヤ

(ホ) 人種及國籍別ニ何人が印度大麻ノ主要使用者ナリヤ且ツ右使用者ノ概算員數如何

(ヘ) 印度大麻ノ使用ハ阿片ノ吸食又ハ吞食ヨリモ害少シト思惟セラルルヤ

(ト) 印度大麻ノ輸入、輸出及通過ニ關スル規則如何

答 本島ニ於テハ印度大麻ハ使用セラレタル例ナシ

阿片吸食ノ特許及矯正處分ノ趣旨

昭和四年十二月十八日

石井警務局長聲明

B-0908

0275

阿片吸食ノ特許及矯正處分ノ趣旨

本年一月阿片令ヲ改正シ從來制度ニ幾多重要ナル改革ヲ加ヘタリ而シテ此機會ニ於テ改正令施行前ノ密吸食癮者ヲ調査シ已ムヲ得サル者ニ對シテハ吸食ヲ特許シ其ノ他ノ者ハ行政處分ニ依リ癮癪ヲ矯正シ以テ我制度ノ裏面ニ懸レル暗翳ヲ一掃シ名實共ニ燦然タル行程ヲ辿リ斷禁ノ完成ヲ確保促進セントス按フニ本島阿片制度ノ本旨ハ制度當初ノ癮者ニ對シ吸食ヲ特許シ爾餘ノ者ニ對シテハ之ヲ斷禁シ特許者ノ死亡廢烟ヲ待ツテ本制度ノ目的ヲ達セントスルモノナルコト言フ俟タサル所ナリ然ルニ阿片吸食ノ惡習ハ一朝ニシテ其ノ傳播ヲ防止シ得サルモノアリ本制度確立當初ニ於テ約十七萬人ノ癮者ヲ網羅シ吸食ノ特許ヲ爲シタルガ其ノ後隱秘ノ裡ニ癮ニ陥リタル者アリ已ムヲ得ス明治三十七、八年ニ三萬餘人、同四十一年ニ一萬餘人ヲ新ニ特許シ今日ニ及ベリ而シテ特許者ハ

年ト共ニ漸減シ現在ニ在テハ僅カニ萬五千餘人ニ減少シ全特許數ノ約一割ニ過キササル狀況ニシテ其ノ成績頗ル顯著ナリ然ルニ阿片ノ密吸食及密賣買違反等ノ事實ヨリ曲ニ現狀ヲ精査スルニ現吸食特許者以外ニ不尠癮者ノ潜在シ居ルコトハ想像スルニ難カラサル狀況ナリ改正阿片令ニ於テハ特ニ此點ニ留意シ舊制度ノ缺陷ヲ補ヒ癮癪傳播ノ防止ニ間然スル所ナカラシメタリ即チ阿片ノ吸食ハ改正令施行前ノ癮者ニ限り之ヲ特許シ爾餘ノ者ニ對スル斷禁ノ精神ヲ闡明シ密吸食違反者ニ對シテハ罰金ヲ廢シ自由刑ト爲シ科刑ノ效果ニ依リ癮癪ノ豫防矯正ヲ期シ尙必要アル場合ハ行政處分ニ依ル癮癪矯正ノ方策ヲ樹立シ以テ濟美ノ實ヲ舉ケンコトヲ期セリ

然ルニ改正令施行前既ニ病的吸食ノ習癖ヲ作レル多數ノ癮者ニ對シ改正令ノ下ニ嚴刑ヲ以テ臨ムコトハ人道^ノ基礎ニ於テ不可ナルノミナラス其ノ全部ヲ刑罰ノ效果ノミニ依リ矯正スルコト能ハス又單ニ矯世處分ノ方法ヲ執ラントスルモ癮者ノ網羅ニ困難ナルコト言フ俟タス按フニ之等密吸食癮者ハ本制度カ斷禁ノ實ヲ舉クルノ秋即チ現特許者ノ絶滅スル時期ニ至ル迄ニハ刑罰ノ效果ニ依リ又ハ行政處分ニ依リ癮癪ヲ矯正セラレ或ハ死亡等ニ因リ絶滅スルモノナルヘキモ其ノ自然ノ趨勢ニ放任シ置クコトハ我カ光輝アル本制度ノ裏面ニ暗霧ヲ胎スモノニシテ斷シテ不可ナリ改正令カ従前ノ特許者以外同令施行前ノ癮者ニ限り吸食ノ特許ヲ認メタル精神ハ實ニ此事情ニ善處セントシタルモノニ外ナラス於茲此際施行前ノ癮者ヲ調査シ吸食ノ已ムヲ得サル者ニ對シテハ吸食ヲ特許シ癮ノ輕キ者又ハ年齡關係上特許ノ結ナリ

具斷禁ノ~~報~~ヲ遲延セシムルカ如キ年少者ニ對シテハ官立醫院ニ於テ矯正救癮シ以テ密吸食癮者ノ一掃ヲ期セントス茲ニ吸食ノ特許及矯正處分ヲ行ハントスルニ當リ其ノ趣意ヲ闡明スルモノ

年 齡 級	高 雄		豊 南		豊 中		新 竹		豊 北		計
	計 女	計 男	計 女	計 男	計 女	計 男	計 女	計 男	計 女	計 男	
三十才未満	四〇	一一二	三三	一一二	二二	三九	一一	一〇	三六	九〇	二七六
四十才未満	五〇	一三九	四二	三二	八一	六五	六五	八〇	一八	三二	二五五
五十才未満	一三	二九	一五	三三	三〇	四〇	一五	二〇	三三	六〇	九七三
六十才未満	九二	二七〇	一三	三三	一三	三三	一五	二〇	三三	五〇	八二七
七十才未満	一	一三	三	一〇	三	二	五	四	五	一	二二
七十才以上	三〇	一一六	六二	四一	六二	三三	一一	一七	四一	一四	三一
計	三〇	一七三	三八	九三	四六	一〇九	四四	三〇	八八	一七	二八五

第四表

州廳、体格及年齢級別阿片吸食特許出願者

阿片政策ノ新措置ニ關シテ國務卿暨阿片
委員ト會見席上ニ於テ事務局長ノ聲明

改正阿片令ノ精神ニ基キ斷禁主義ノ完成ヲ促進スル爲メ左記方法ヲ以テ
密吸食者ノ一掃ヲ期セムトス

一、密吸食者ニ對スル醫學的ニ診ノ結果

イ、癮重クシテ治療困難ナル者ニ對シテノミ特許スルコト

ロ、其ノ他ノ者ニ對シテハ矯正治療ヲ行フコト

二、將來ノ密吸食ノ原因ヲ絶滅セシムル爲メ一層取締ノ徹底ヲ期スルコト

三、新特許ニ因ル收入ニ優先的ニ治療及取締ノ費用ニ充ツル方針ナルコト

年 齡	臺 北		臺 中		臺 南		高 雄		計
	女	男	女	男	女	男	女	男	
二十才未満	四	四							八
二十才以上 四十才未満									一
四十才以上 五十才未満									九
五十才以上 六十才未満									七
六十才以上 七十才未満									二
七十才以上									一
計	三	三							三

第九表

矯正治療出願者

(昭和五年十一月十五日
至十一月二十八日)

計	澎 湖		花 蓮 港		臺 東	
	女	男	女	男	女	男
六一五						
八六二						
八一七	一	一	四	一	三	一
四三三						
三八五						
六一五	一	一	四	三	一	
四〇四	一	一	〇	九	一	五七八
一〇三						
六八						
九四			一		一	
八〇七	六	六	七	二	四	七一五
〇六四	四	一	三	二	七	八九九
七六〇						
七六〇						
三五八	五	四	一	三	八	三一
八四四	〇	一	九	三	〇	三九〇九
三五五						
〇五五						
二二〇	一	一	一	一	一	
八六二	七	三	四	九	七	二六七九
三二二						
二九三						
九一八	八	一	七	三	一	二三一
二二〇						
五〇						
五一三	一	一	三	二	一	
二四七	五	四	五	七	七	五四〇
七八九	一	六	五	一	五	六四七

B-0908

0279

臺灣總督府臺北更生院概要

臺灣總督府臺北更生院

一、沿革及概要

二、職員

三、治療成績

一、沿革及概要

臺灣總督府ニ於テハ一八九七年（明治三十年）臺灣住民中阿片吸食ノ
習慣ニ陥リタル多數ノ患者ニ對シテニ禁斷ヲ勵行スルコトハ總督ノ生
命ニ危險ヲ及ボス虞レアリシヲ以テ與ニ彼等ヲ救濟セントスル人道上
ノ見地ヨリ阿片論禁政策ヲ樹立セリ之ト同時ニ患者ニ對スル矯正療法
ノ調査ヲ中央衛生會特別會員ノ手ニ付シ調査ヲ行ヒ來リシカ一九〇一
年（明治三十四年）臺灣地方病及傳染病調査委員會ヲ設ケラルルニ及
ビテ之ヲ其ノ研究事項ニ移セリ而シテ一面ニハ總督府醫院及地方配廠

ノ公醫ニ命シテ之カ矯正療法ノ研究ニ當ラシメ既ニ幾多ノ全治者ヲ出シタリト雖モ當時ニ於テハ阿片癮ノ理想的治療法ヲ缺キタリシ爲治療ヲ受クル者ノ中ニハ禁斷現象ノ苦痛ニ堪ヘス治療中止ノ止ムナキヲ訴ヘ治療ノ普及徹底ヲ期シ難キモアリシカ近年本邦ニ於テ阿片癮ノ治療ニ關スル學理及ヒ實際ニ就テノ研究漸ク盛トナルニ及ヌテ我カ臺灣總督府ニ於テハ阿片禁斷主義ノ確保促進ヲ期シ昨年一月臺灣阿片令ヲ改正シ阿片制度ニ癮者矯正ノ新政策ヲ樹立シ爾來特ニ斯ノ方面ノ研究ヲ重ネ治療法ノ確信ヲ得タルヲ以テ愈全年十二月ヨリ密販食癮者ノ調査ニ着手シ先ツ之等癮者ヲ矯正スヘク本年一月十五日總督ノ訓令ヲ以テ臺北更生院ヲ（癮者矯正所）設置セリ目下其ノ病舎（百名收容）病舎建設中ナルカ矯正治療出願者ノ爲臺灣總督府中央研究所構内ニアル實驗「マリア」治療所ノ一部ヲ使用シテ更正院ヲ假設シ臺灣總督府技師下條博士ヲ院長トシ斯ノ方面ノ研究ニ造詣淺カラサル臺灣總督府醫學專門學校藥物學教授杜聰明博士ヲ主任トシテ茲ニ本島阿片制度ノ

一大特色タル癮者ノ矯正治療ヲ開始セリ而シテ癮者ノ矯正治療ハ各地方官立醫院ニ於テモ相當ノ設備ヲ以テ實施スル計畫ナルカ臺北更生院ハ普通醫院ヨリ獨立シ全島ニ於ケル阿片癮者ノ中央矯正機關トモ見ルヘキモノナリ今左ニ本院ノ特色ヲ列記セントス

- 第一ノ特徴トシテハ癮者ヲ總督ノ權限ニ依リ強制力ヲ以テ收容シ矯正ノ徹底ヲ期スルモノナリ
- 第二ノ特徴トシテハ貧困者ニ對シテハ一切ヲ官費トシ旅費迄モ支給ス尙特別病室ヲモ設テ上流階級者ノ使用ニモ便宜ヲ計レリ
- 第三ノ特徴トシテ更正院ノ治療法ナリ、今日ノ治療法トシテ即時禁斷法及漸次輕減療法等アレトモ我カ更生院ニ於テハ杜聰明博士カ多年研究セラレタル漸減療法ニ依リ癮者ノ多クハ殆ント苦痛ナシニ又不識ノ間ニ比較的短期間ニシテ矯正サレ得ルモノナリ

尙更正院ニ於テハ阿片癮者ノ矯正治療ノ外麻藥中毒者ヲモ治療ス

三職員

院長(兼)臺灣總督府技師 醫學博士
總務課長(兼)臺灣總督府技師 醫學博士
總務課長(兼)臺北醫學專門
學校教授 醫學博士

下 榎 久馬一

杜 堀 明

坂 結 源

栗 猫 猫

石 原 五 郎

平 川 安 二

坂 中 美 洋子

出 氏 茂 五 妹

小 佐 金 星

以上ハ全職員ナルモ來ル四月ニ開始スル本病院ニ於テハ更ニ職員五六
名増設スルニ及ビ事務員二名ヲ増加スル豫定ナリ

三、其ノ治療成績左表ノ如シ



臺灣ニ於ケルモルヒネ類中毒及阿片癮者治療成績
 更生院 (阿片癮者)

氏名	性別	職業	年令	癮期間	癮種類	動機	最高使用量	通常使用量	習慣(元)最小量	合併症	治療日	治療法	治療日数	治療成績
蔡某	男	農業	四三	三二	十年	腹治痛病	二〇	二〇	〇.一二		十三日	二〇	二四	全治
周勇	男	料理人	三四	二三	十年		二五	二一	〇.一八		十四日	二一	二四	全治
郭某	男		三八	三〇	八年	癮	一五	〇.三	〇.〇九	梅毒	五日	二二	二四	全治
呂吉	男	農業	三二	二六	六年	喘息	五〇	一五	〇.〇九		十一日	二二	二四	全治
唐德	男	牛豚	二七	二四	三年	腹痛	一五	〇.七五	〇.一四		十二日	二二	二六	全治
蘇皮	男	商業	二一	一六	五年	胃病	三五	一三	〇.三		十四日	二二	二二	全治
詹口	男	商業	二八	一七	十年	喘息	五五	三〇	〇.一八	肺結核				
下吉	男	製画	六一	四〇	三年	赤痢	内服 八	内服 八	〇.二	梅毒	二十日	二二	二九	
陳溪	男	牛乳	三二	一七	五年	胃病	六〇	四〇	〇.一八	慢性氣管炎	十四日	二二	二〇	
周富	男	苦力	三八	三三	四年	不食	一〇	一〇	〇.〇八	ナシ	八日	二二	二五	
高皮	男		四七	三七	三年	惡心	一〇	一〇	〇.〇八	ナシ	九日	二二	二五	
鄭某	男	農業	二七	二〇	七年	鎮咳	一〇	一〇	〇.〇六	喘息	六日	二二	二五	
呂口	男	商業	二八	二四	四年	不食	一〇	一〇	〇.〇二	喘息	五日	二二	二五	全治
鄧口	男		六一	五五	六年	阿片癮	一〇	一〇	〇.五	喘息	六日	二二	二五	全治
謝曹	男	農業	四五	四四	一年	鎮咳	一〇	一〇	〇.五	疼痛	五日	二二	二五	全治
陳〇〇	男	後者	一六	一二	四年	淋病	二五	一〇	〇.二五	化膿				
鄭〇	男	農業	五一	五〇	一年	鎮咳	一〇	一〇	〇.二	肺結核				
陳〇城	男	商業	二七	二六	十年	鎮咳	二五	二〇	〇.二	喘息				
林〇	男	車夫	四一	三一	三年	胃痛	一五	一五	〇.〇六		十一日	二二	二七	全治
林〇塗	男		五五	一七	三年	遺精	四〇	二〇	〇.二					
詹〇昌	男		五二	三〇	三年	淋病	三〇	一五	〇.〇九		七日	二二	二六	全治
林〇品	男	商業	三〇	二六	四年	癮	一〇	三二	〇.二三					
周〇	男	農業	四一	二〇	三年	腹痛	三〇	三〇	〇.二六					

更生院

(モルヒネ類中毒者)

氏名	植 一	遠 五	鐘 子	村 夫	廣 八	歐 加
性別	男	女	女	男	男	男
職業	鐵貴	娼妓	娼妓	倉庫員	農務	車夫
年令	四五	二四	二〇	三一	六五	三八
年令	三三	一九	一九	二八	五五	三七
期間	二年	五年	一年	三年	十年	一年
癩種類	ヘロイン	モルヒネ	モルヒネ	パピナル	モルヒネ	ヘロイン
動機	治病	胃痛	胃痛	鎮咳	胃痛	胃痛
用量	ヘロイン	モルヒネ	モルヒネ	パピナル	ヘロイン	ヘロイン
通常使用量	ヘロイン	モルヒネ	モルヒネ	三十本	ヘロイン	ヘロイン
入院時最小量	モルヒネ	モルヒネ	モルヒネ	二十本	ヘロイン	ヘロイン
除癩日数	一日	六日	十日	一日	一日	一日
合併症	肺カタル	胃管炎	胃管炎	神経痛	一日	一日
治療法	胎加五	胎加五	胎加五	胎加五	胎加五	胎加五
摘要		全治	全治	全治		

周 男	林 金	阪 木
苦力	車夫	沆夫
四一	三四	三五
一九	二二	二四
三年	四年	十年
〃	〃	〃
胃痛	便秘	治癩
三〇	一五	一〇
〃	〃	〃
一五	一五	〇八
〇九	〇九	〇四
一日	一日	一日
十四日	七日	三日
胎加五	胎加五	胎加五
全治	全治	全治

臺灣ニ於タル賭税法等違犯申告者賞與ニ關スル件

明治四十四年五月
勅令第百六十號

臺灣ニ於テ賭税法、臺灣阿片令、粗製樟腦樟腦油專賣法又ハ臺灣煙草專賣規則ニ關スル犯罪ヲ申告ニ因リ發見シタル場合ニ於テハ現ニ沒收シ若ハ納付セシメタル物品ノ代價ノ半額又ハ徵收金若ハ納付セシメタル徵收金ニ相當スル金額ノ半額ヲ其ノ申告者ニ給與ス、但シ生阿片、官製ニ非サル阿片煙膏又ハ阿片煙膏ト同效力ノ製劑ヲ差押ヘタル場合ニ於テ犯人不明ナルトキハ直ニ其ノ物品ノ代價ノ三分ノ一ヲ給與スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年勅令第百六十號ニ依ル給與金取扱手續

大正六年三月
訓令第二十七號

改正大正一四年訓令第一六號

- 第一條 申告者ニ給與スヘキ金額ハ判決ノ言渡アリタル法院檢察局又ハ即決若ハ違台處分官署ニ於テ之ヲ決定シ當該支田官ニ通知スヘシ
- 第二條 申告者ニ給與スヘキ沒收物品ノ代價ハ判決確定又ハ即決言渡若ハ通告處分當時ノ時價トス但シ公賣シタルトキハ公賣代金トス
- 第三條 前條ノ時價ハ評價人ヲシテ之ヲ評價セシムヘシ但シ沒收物品ヲ專賣局ニ引渡シタルトキハ專賣局ノ鑑定價額ニ依ルヘシ
- 第四條 税關ヨリ引渡ヲ受ケタル沒收物品ニシテ輸出又ハ輸入ノ禁制品若ハ法令ノ規定ニ依ルニ非サレハ所持、讓渡スルコトヲ待サル物品ナルトキハ税關ノ鑑定價額ニ依ルヘシ
- 第五條 徵收金ハ現ニ徵收シタル額トス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

最近十ヶ年間臺北市ニ於ケル物價總平均指數比較左ノ如シ

年次	指數
大正八年	一〇〇・〇〇
同九年	一一五・六〇
同十年	八九・七二
同十一年	八九・九五
同十二年	八六・七六
同十三年	八七・九四
同十四年	九〇・一七
昭和元年	八三・三四
同二年	八一・二五
同三年	七八・六六
同四年九月迄	七七・三三

最近十ヶ年ニ於ケル物價ノ毎年平均對英貨爲替相場
(倫敦一圓ニ付)

大正八年	三〇・三	志・片
同九年	三〇・七	一二
同十年	三〇・五	七八
同十一年	三〇・一	七八
同十二年	三〇・一	九一・六
同十三年	三〇・〇	一三・一六
同十四年	二〇・八	一四
昭和元年	一一・一	一八
同二年	一一・一	七一・六
同三年	一一・〇	七八
同四年	一一・〇	三四

B-0908

0286

金ノ價格
金一匁ニ行五圓ナリ
金貨本位ニ行價格ニ異動ナシ

B-0908

0287

條約局長

關機高發第九二〇九號

昭和五年四月十四日

關東廳警務局長心得

昭和五年四月廿五日接受



招 務 次 官 殿
 内閣書記官長 殿
 外 務 次 官 殿
 内務省警保局長 殿
 指定廳府縣長官 殿
 奉天各總領事 殿
 哈爾濱各總領事 殿
 關東軍參謀長 殿
 關東憲兵隊長 殿
 關東州在勤海軍武官 殿

滿鐵情報課長 殿
 在京關東長官 殿
 廳下各警察官署長 殿
 關東廳阿片專賣局長 殿

國際聯盟派遣阿片委員、未滿ニ
 對スル部民、感想

國際聯盟派遣阿片事情調査委員「エストゥン
 ド」以下五名、一行ハ三月二十二日午前九時大連入港、
 天潮丸ニテ天津ヨリ未達ニ爾未大連旅順ニ於ケル
 阿片事情、調査ヲ行ヒ三月二十九日午前九時大連
 出發奉天經由朝鮮ニ向ヒタルカ本調査委員ニ對
 スル部民、感想ヲ綜合スル梗概左ノ如シ

記

B-0908



一邦人

阿片制度ノ問題ハ直接在住邦人ニ關係ナキヲ以テ極メテ冷淡ナリシモ今回ノ阿片事情特調査委員ノ未滿ニ就テハ種々ナル觀察ヲ爲シ居ル向アリ即チ調査委員ノ行動ハ表面人道ニ立脚シ極東ノ阿片事情調査ニ名ヲ藉ルモ實ハ我國ノ對支阿片政策ノ内情調査ヲ目的トスルモノナリ元來我國ノ阿片政策ハ余リニ馬鹿正直ニシテ國際條約ニ盲從シ列國ノ鼻息ヲ伺ヒ國家ノ利害ヲ度外視シタル政策ヲ採ル結果反ツテ世界ノ注意ヲ招キ恰モ關東州ヲシテ阿片魔窟ノ如キ疑念ヲ抱カシムルニ至レリ諸外國ノ政策ハ洵ニ巧妙陰險ノ策ヲ講セラレ殊ニ

ニ英國ノ如キハ印度ニ於テ盛ニ罌粟ヲ栽培シ暗ニ海關ノ利便ヲ利用シ國家機關ヲ背景トシテ常ニ大量ノ阿片ヲ支那ニ密輸入セシメツツアルニモ拘ラス之ヲ暴露セシメサル手練ハ實ニ鮮カナルモノナリ又聞ク所ニ依レハ香港ノ如キハ一ヶ年ノ歳出豫算ノ過半ハ阿片收入ヲ以テ補填シツツアル状態ナリト云フ如何ニ我國ニ國際信義ヲ重スルモ諸外國及支那ニ於テ此ヲ醒スル所ナクシテ到底支那ヲ阿片中毒ヨリ救フコト困難ナリ故ニ我國ニ於テモ國策上尙局ノ一考ヲ煩ス必要アリ若シ我關東州ニ外國ノ支那ニ於ケルカ如キ政策ヲ振レハ阿片ニ因ル收入ハ現在ヨリ増加スルコトハ疑ナ

ク賤源ノ補填モ易々タルモノナリ殊ニ關東
州ハ台湾^等ト異リ支那人ハ我國ノ治下ニ在ルト
云フノミニテ籍ハ外國人ナレハ彼等民族ノ永遠
ナル發展ヲ考慮スル、必要ナク要ホニ應シテ
ハ無制限ナル吸食ヲ默許スルモ我國トシテハ
支障ナカルヘシ然レ共我國ノ阿片政策ハ公明
正大何等表裏ナキヲ以テ今回ノ阿片委員ノ
實情視察ニ依リ却ッテ我國ノ誠實ヲ認め
ラルヘシ

ニ支那人

(1) 阿片小賣營業者ノ感想

國際阿片調査員ノ視察ニ關シ當局ニ於テハ
非常ノ注意ヲ拂ヒ居レルカ委員ノ視察期

間ハ極メテ短時日ナルヲ以テ詳細ニ實情ヲ
調査スルコトハ到底困難ニシテ結局表面ノミ
ノ視察ニ過キサルヘシ目下吾界何レノ國ニ於テ
モ阿片吸食ハ禁止セラレ居ル所ナルニ當リ關
東此ハ癮者救済ノ為ニ癮者ニ對シテノミ吸食
ヲ許可セラレ國際聯盟又亦之ヲ容認シ未
レル處ニシテ今俄ニ之ヲ改ムルコトハ甚々困
難ノ事情アルヘシ又一行ノ滞在中漢字新聞
報東日報カ漫用追憶載シテ官憲及調査安
員ニ對シ嘲弄的記事ヲ掲載シ居タルモ如斯
コトハ信スル能ハハ吾國ノ阿片事情調査ハ
人道上ヨリ見ルトキハ尚ニ喜フヘキ事ナルモ
此ノ調査ノ結果直ニ斷然吸食ヲ禁止セラルル

カ如キコトハ萬十カクヘク之カ實現迄ニハ相
當ノ歲月ヲ要スヘキモノナレハ吾等同業者
トシテ何等憂慮スヘキ問題ニアラス云々
四一般支那人

國際聯盟阿片調査委員、未滿ノ目的ハ世界
第一ノ阿片消費國トシテ知ラルル我中國ヲ
人道上ヨリ救済セント國際聯盟ヨリ派遣セラ
レタルモノニシテ滿洲ニ於テハ特ニ日本政府ノ
阿片政策ノ實情調査ヲ目的トスルモノナリ
若シ此ノ結果聯盟ニ於テ對策ヲ考究シ幾分
タリトモ阿片制度ノ改善ヲ計ル如キコトアラ
ハ同胞ノ為メ幸ナリ然レ共何分短時日ノ調査
ナレハ單ニ皮相ヲ見ルニ過キサルヘク多ク、期

四

待ヲ有スルコト能ハサルヘシ
元素支那ニ於ケル阿片吸食、取締ハ甚々緩漫
ニシテ關東廳下ノ如キモ阿片吸食者ハ年々
其ノ數ニ於テ或ハ量ニ於テ増加ノ傾向ニアリ殊ニ
支那側官憲ノ如キハ表面嚴重ナル法令ヲ設
ケテ吸食ヲ禁シツツアルニモ拘ラズ支那奧地
ニ於テハ到ル處罌粟ヲ栽培シ而モ各省官
憲ハ之ヲ以テ唯一ノ財源トセル關係上暗ニ栽培
ヲ獎勵シツツアリ、又之カ吸食、取締ニ至リ
テモ表面ハ兎モ角内情ハ其ノ徹底ヲ欠ク嫌アリ
隨ツテ癮者ノ減退ハ到底望ミ難ク我等ハ先
ツ官憲ノ反省ト人民ノ自制心ヲ促ス必要アリ
斯ル現状ナレハ調査委員ノ皮相ノミノ觀察ニ

テハ到底豫期ノ效果ヲ得ルコト固疑ナルヘシ云々
ハ奉天支那官憲ノ態度

旅順大連等ニ於ケル國際阿片調査委員ノ
阿片制度調査ハ相當興味アル問題ナリ日
本ハ州内ニ於テ癮者救済ノ美名ノ下ニ公然阿
片ヲ吸食セシメ且ツ州外ニ在リテハ表面之ヲ
禁止シナカテ裏面ニ於テ取締ニ手加減ヲ加
ヘ一大財源トシツツアル状態ナレハ今回委員
未滿ハ相當日本側ニ脅威ヲ感セシメタルハ明
ナリ

遼寧省ニ於テハ昨年ヨリ拒毒會ヲ組織シ一
般ニ禁止方ヲ宣傳シテ戒煙ニ努ムルト共ニ罌
粟ノ栽培ヲ禁止シ居レルモ之ニ加フルニモル
五

ヒネ^レヘロイン^レ等ヲ外國人ノ手ニ依リテ密賣
セテ却テ毒ヲ流シツツアリ今回調査委
員一行ニ於テハ此ノ現状ヲ親シク視察ヲ願
フト共ニ其ノ状況ヲ説明スルヲ得ハ誠ニ好都
合ナリシモ本調査委員ハ支那内地ノ調査ハ
行ハス日本側ニ對シテノミ調査スルコトナ
リ居レリ從ツテ日本側ノ言ノミヲ信スルコト
トナリ實情ヲ明ニスル能ハス甚タ偏頗ナル
調査ナリト云ハサルヘカラス殊ニ短時日ノ調査
ナルヲ以テ折角未滿セルモ到底真相ノ調査不
可能ニシテ單ニ表面的調査ニ終ルヘシ
尙國際阿片委員ノ阿片事情調査ニ關シ上
海拒毒會ヨリ今回阿片調査ニハ支那側委

員モ参加センコトヲ希望シタルニモ拘ラズ聯盟ハ之ヲ拒絶シ且ツ調査區域モ單ニ極東トシ又調査ハ阿片ノミニ限リ一般麻醉劑ニ及ハサルカ如キハ甚タ奇怪ニ堪ヘス故ニ該調査委員ニ對シテハ款待等ノ必要ナシトノ通知モアリ大ナル期待ヲ有スル能ハス云々
又本件ニ關シ遼寧省政府ノ發シタル訓令ノ大要左ノ如シ。

今次國際聯盟ヨリ派遣セラレタル阿片調査委員ノ調査ハ我國ノ利害ニ關スル處甚大ナルヲ以テ各縣政府ハ所屬ニ轉令シ外國商人ノ阿片密輸又ハ密賣ノ狀況ヲ詳細調査報告セシメテ參考トシ且ツ禁煙大會ヲ開催シテ

答弁ノ材料ヲ蒐集シ以テ外人ノ奸策ヲ摘發スルト共ニ我國ノ國際地位ヲ保全スヘシ云々

三新聞論調

國際阿片調査委員ノ未滿ニ關シ邦字新聞ハ素ヨリ漢字新聞ニ於テモ特筆スヘキ批判ヲ試ミタルモノナカリシカ大連市ニ於テ發行スル邦人經營漢字新聞泰東日報ハ目隠シテ提灯ヲ携帶セル漫画ヲ掲ケテ國際阿片委員ヲ諷刺シ又奉天城内支那側發行東三省公報ハ今回ノ阿片事情ノ調査ハ甚タ不徹底ノ感アリ調査ノ主旨ヲ解スル能ハス從ツテ拒毒ニ何等益スル所ナカルヘシトノ論評ヲ爲シ居レリ記事譯文左ノ如シ、

譯文

(一)三月二十五日春東日報記事

鴉片調査團着連後阿片吸食所大ニ滑稽ヲ



演ス、永遠タリ得ルカ、或ハ
一時的カ、國際阿片調査委
員團我旅大、地ニ到着スル
ヤ官廳方面ニ於テハ頗ル重
要視シ大活動ノ下ニ各阿片
小賣所、検査ヲ實行シ、某

々阿片小賣所、大看板ヲ撤去セシメ阿片吸
食者ニシテ無許可ノモノアツハ之ニ葉卷煙草
ヲ喫フ斯ノ如クセハ旅大ノ阿片館ハ或ハ撲滅シ
得ヘク人類ヲ害スル阿片モ亦其ノ跡ヲ絶ツヘ
ト

シ賢明ナル當局ハ繼續努力次テ阿片ヲ撲滅
シ民間ノ幸福ヲ増進シ社會ノ為メ害ヲ除去セ
ラレシコトヲ切望ス。

山東三省公報 訳文

四月三日附

禁烟ト査烟

(前略)第二ノ國際極東阿片調査團今回ノ来滿
カ其ノ志ス處毒物調査ニアリトセハ稍遺憾
ナキ能ハス。仄聞スルニ該團ハ廣東、上海南京
漢口北平ヲ經テ我遼寧ニ到リタルモノナルカ
其ノ目的ハ專ラ現在我國ニ於ケル禁烟状況ヲ
調査スルニ在リト謂フ、毒物調査ニ際シテハ独
リ中國ノ禁烟トミニ注意スル能ハス「モヒ」ヘロイ

ン等ノ如キ毒物モ皆鴉片ニ劣ラサルヲ以テ鴉片ト同様ニ調査スヘキモノナルカ遂ニ經費過大ナル關係上實現サレズ且ツ英國カ國際極東調査團ノ組織ニ際シ提案セル際我國ハ極力争辯セルモ遂ニ効果ナカリシモノナリ。今該團一行ハ日本ニ對スルニ僅ニ烟苗(罌粟)調査ト云フ名目ヲ以テス豈ニ日本ハ固ヨリ烟苗ヲ産セサルヲ知ラサランヤ、何故ニ斯ノ如キ形式的ノコトヲ為スヤ、^{「モヒ」}ヘロイン^{「」}等ノ毒物ハ彼ノ工業發達セル國家ノ製産品ナルニ拘ラス独リ鴉片ニ限り此レ等製品ニ對シ殊更注意セズ又毒劣ニ於テ鴉片ノ栽培、販賣吸食ノ最モ甚タシキハ土耳其、波斯、南斯拉ブ諸國ナリト

ノ定評アルニ拘ラス該團ハ之ヲ顧ミス独リ極東中國ノミニ注意調査スルハ明ニ專ラ中國カ嗜烟ノ劣行アリト注視スルモノニシテ寧ろ偏見ニ過クル感アリ、該團ノ調査主旨ハ果シテ邪辺ニ在リヤハ知ラサルモ以上ニ依リ之ヲ觀ルニ吾人ハ禁烟及査烟ノ二字ハ拒毒ニ何等益スル處ナキ結果ヲ素スモノナルコトヲ知ル

以上

陸約局

外務 第一一三〇 號

昭和五年四月十八日

警視總監 丸山 鶴 告

内務大臣 安達 謙 藏 殿

外務大臣 幣原 喜重郎 殿

拓務大臣 松田 源 治 殿

指定 廳 府 縣 長 官 殿

國際聯盟極東阿片調查委員退京ノ件

帝國ホテル止宿

國際聯盟極東阿片調查委員長
里尔然丁駐劄 瑞典國 公使

イー・イー・エクストランド

E. E. Ekstrand

外四名

500. 4/15 3

大連

右一行ノ入京ニ関シ本月九日附外務第九九二號、既報ノ慶
全人等ハ予定ノ通り外務、拓務両省ヲ訪問ノ上市
内饒光ノ傍各方面ノ招待會ニ出席シ居タルガ
全委員「ゼラール」以外ノ四名ハ本月十三日、日光ヨリ
箱根方面、觀光ニ赴クト稱シテ退京シ「ゼラール」ノ
ミハ當地ニ滞留シ居タルガ昨十七日横濱ニテ
一行ニ加ハリ全日午後三時出帆、汽船「エムプル
ス」オグ、ルシアレ 號ニテ米國經由飯國スト稱シ
省電ニテ横濱ニ向ケ退京セリ。

右又申(通)報候



昭和五年四月十九日接受

B-0908

0296

3001 Y53

條約局

外務大臣 齋藤 三三〇 號

昭和五年四月十九日

神奈川県知事 小縣 治郎

昭和五年四月廿一日 接受



内務大臣 安達 謙藏 殿
外務大臣 齋藤 喜重郎 殿
指定各府県在縣長官 殿

国際聯盟派遣極東阿片調査委員
一行来往ニ関スル件

委員長「フェンス・アイレス」駐劄瑞典国公使
E. E. Estland

委員 白耳義国公債消却基金局長 又
同国経済協会会長

随員 国際聯盟事務局部員
Max Leo Girard

委員 前「リオデジャネイロ」駐劄「チエッコ」国公使
B. A. Renborg
「セーナ」ハブラーザ
Ferra Harlow

送記者 英国人 シイ・イー・マーシャル
C. G. Marshall

右一行ハ極東ニ於ケル阿片吸飲状態調査ノ為メ滿鮮
經由内地各地来往ノ旨関係(貴)様ヨリ来報ノ處ホ三
者ハ外務省没沃事務官、案内ニテ本月十五日午後五時

B-0908



東京ヨリ来函宮ノ下富士屋ホテルニ投宿シ十六日午ノ
九時頃ホテル出發自動車ニテ静岡縣長尾峠方面
ヲ遊覽シ正午帰宿午餐後午後一時再ヒ自動車ニテ
箱根町ニ到リ附近觀老ノ上午後五時帰宿シ十七日
午前九時八分小田原發リ車ニテ横濱ニ向ヒ帝國ホテルニ
滞在申ナリ午後三時出帆ノ「ユム、エー、ヤ」
ニテ加奈陀聖由帰國ノ金ニ就ケリ
追テ一行ニ對シテハ曩ニ衛生局長(貴官)ヨリ通牒ノ次
第モアリ自動車ヲ提發スル等相宜便宜供与シ置キテ
右及申(通)報云也

大臣 次官 局長
 SOCIÉTÉ DES NATIONS
 LEAGUE OF NATIONS
 Yokohama, April 17th, 1930.
 Your Excellency,

The League of Nations Commission of Enquiry into the Control of Opium Smoking in the Far East having completed its visits to the different parts of the Japanese Empire, I have the honour, on my own behalf as well as on behalf of my colleagues of the Commission to express to Your Excellency our sincerest thanks and warmest appreciation of the assistance given to the Commission and the hospitality shown both by Your Excellency's Government and by the Governments of Taiwan, the Kwantung Leased Territory and Chosen.

The Commission desires specially to place on record that all the officials with whom the Commission has been in contact during its work in the Japanese Empire had made complete preparations for the Commission's visit and co-operated wholeheartedly with the Commission in its enquiry.

I am glad to be able to say that the Commission believes that it has obtained a comprehensive view of the opium smoking question in the territories where investigations have been carried out and this is due to a large extent to the assistance given to the Commission by the authorities.

The Commission desires also to thank the Government of Japan for the opportunity given the Commission through Your Excellency's intermediary to visit Japan proper and get into touch with the Central authorities concerned in the opium smoking question.

I have the honour to be,
 Your Excellency's
 Most humble and obedient servant,
Chie Seno
 CHAIRMAN OF THE COMMISSION.

His Excellency
 Baron K. Shidehara,
 Minister for Foreign Affairs,
 Tokyo.

0299

B-0908

300.45-3

懸
宗
字
止

April 24th, 1930

大臣
次官
手

陸
海

陸海軍省

陸海軍省
庶務課
庶務課長

昭和五年四月五日發
昭和五年四月四日
24 41

Your Excellency,

I have the honour to acknowledge receipt of your Excellency's letter dated April 17th, 1930 in which you were so kind as to express your sincerest thanks and appreciation of the assistance given to the Commission as well as of the hospitality shown by ^{the Japanese} this Government and ^{authorities} by the subordinate Governments of the Japanese Empire.

I am very ^{happy} glad to learn that the Commission has been satisfied with the preparations made by the Japanese officials for its visit and with their co-operation in its enquiry and that it has obtained a comprehensive view of the opium smoking question as it exists in the Japanese territories where the Commission carried out its investigations.

I congratulate the Commission on its accomplishment of the different ^{icult} and delicate ^{task} which you and your colleagues have fulfilled with the most careful attention and admirable enthusiasm.

I have the honour to be,

Your Excellency's

most obedient,

humble servant,

His Excellency
Monsieur E. E. Ekstrand
League of Nations
Societe des Nations
Geneve Geneva

B-0908

0300

條約局長

關衛第三九五號

昭和五年七月一日

關東廳警務局長

外務省條約局長 殿

國際聯盟極東阿片吸食事情調查委員ノ視察狀況ニ
關スル件

委員長 イ・イー・エクスランド (ヴェノスアイレス駐在瑞典公使)

委員 マックス・レオ・ゼラル (ベルギー公債消却基金局長及ベルギー經濟協會長)

委員 ジャン・ハブラサ (元リオデジヤネ駐在チエツコ國公使)

外從員二名 (書記一、速記者一)

右委員一行ハ臺灣阿片制度ノ視察ヲ了シ途中上海、天津ヲ經三月廿二日
大連ニ到着爾來一週間ニ亘リ詳細ニ而モ熱心ニ當州阿片制度ニ關シ其ノ

關東廳

昭和五年七月八日 接受

條約局長 文書

賣下、小賣ノ狀況、密輸出入ノ取締、癮者治療並豫算關係其ノ他阿片ニ
關スル各般ノ事務ヲ調査シ又其ノ實際方面ヲ視察シ同月廿九日大連發北
行奉天、撫順ヲ視察シ四月一日奉天發朝鮮經由日本ニ向ヒタリ一行ノ州
内視察狀況大要左ノ如シ
追テ當廳ニ於テ豫テ用意シタル阿片及麻藥制度概要及質問ニ對スル答
辯書參考迄ニ添送ス

記

一 視察委員ノ渡來ニ對スル當廳ノ準備
視察委員ノ當廳阿片制度並之カ取締振リニ關スル批評ハ最モ公正ナル
モノアルヘント豫想シタリシカ臺灣總督府ニ於ケル委員一行ノ視察狀
況情報、個人通信、新聞ノ報導ニヨリ其ノ調査ハ微ニ入り細ヲ穿ツモ
ノアルヲ察知シタルヲ以テ豫而當廳ニ於テ編纂セル關東州阿片麻藥制
度概要及委員側ノ質問ニ對スル答辯書ニ關シ數回關係者ヲ招致シ協議
ヲ遂ケ打合ヲナシタリ

關東廳

然シテ當廳ノ阿片ニ關スル事項ハ頗ル複雑且機微ニ亘ルモノアルノミ
ナラス民政創治當時ニ於ケル阿片制度ノ詳細ニ關シテハ法令ノ不備ニ
加ヘテ數次ノ制度ノ變革ト取扱者ノ移動等ニ依リ明瞭ヲ缺クモノ尠カ
ラス殊ニ統計的數字ノ基礎ニ至リテハ甚タシク説明ニ困窮シタリ特ニ
關東州ハ足一步ニシテ隣接支那管内ト交通自由ニシテ他ノ地方ノ如ク
嚴格ナル取締不可能ノ實情ニアルヲ以テ當廳トシテハ寧ロ進ンテ委員
側ニ對シ居住支那人支那勞働者竝移民ノ實狀及彼等集團ノ實生活狀態
ヲ紹介シ實際問題トシテ法規ノ勵行困難ナル實狀ニ對シ忌憚ナキ批評
ヲ受ケムトノ方針ニ出テタリ
然レトモ他方當廳ニ於テハ阿片、「モルヒネ」、ノ中毒ニ關スル學術
的研究癮者ノ治療ニ關シテハ學者タルト實際家タルトヲ問ハス之等ノ
研究者ニ對シテハ其ノ助成ニ相當ノ援助ヲ與ヘ衆智ヲ集ムルニ努力シ
ツツアリ其ノ成績ノ見ルヘキモノアルニ鑑ミ之等ノ點ヲ充分紹介スヘ
ク準備シタリ

關 東 廳

二 委員ノ視察態度

(イ) 一般態度 臺灣側ノ情報ニ徵スルニ一行ノ態度ハ極メテ傲慢不遜ナ
ルカ如クナリシヲ以テ其ノ旨各關係者ニ通シ以テ無用ナル感情ノ行
違ナキヲ期シタリ然レトモ當管内ニ於テハ委員等ノ態度ハ紳士的ニ
シテ直接本人ニ向ツテ答辯者ノ氏名年齢等又署名ヲ要求スルコトナ
ク只實地視察ノ際ニ於ケル來訪者ニ對シテノミ之ヲナシ招待席ニ於
ケル快心振りハ親密其ノモノノ如ク感セラレタリ
(ロ) 質問振り 調査事項ノ質問振りハ細密ニ過キ内容ハ阿片麻藥ニ何等
關係ナキ點ニ迄及ヒ枝葉ノ問題ニ就キ前答辯ト後ノ答辯又ハ記載事
項ノ抵觸セル點ヲ求ムル如キ態度アリタルハ否ムヘカラス
(ハ) 委員ノ對當局感情 右ニ對シ當方トシテハ卒直ニ説明シ不明ナルハ
不明トシ訂正スヘキハ之ヲ訂正シ改善スヘキ點ハ之ヲ認メタルニ却
テ好感ヲ持シタルヤニ見受ラレタリ
三 委員ノ特ニ留意調査シタル點ト其ノ説明

關 東 廳

(イ) 關東州ノ地理的關係 當州ハ支那接續地トノ交通自由ニシテ何等ノ制限ナク單ニ海港檢疫ニヨリ望視スル程度ナルヲ以テ中毒者モ自由ニ移入シ來ル實狀ニ對シ委員側ハ意外ノ様子ナリキ從テ支那ノ阿片制度ノ著シク改善セラレ實際ニ其ノ取締ヲ勵行セラレサル限り現在ノ支那ノ阿片取締振リハ關東州ノ阿片漸減政策ニ對シ何等ノ好影響ヲ來ササル旨ヲ說明セルニ對シ之ニ首肯シタリ

(ロ) 癮者認定ノ方法 癮者認定ノ方法ハ經驗ヲ主トスル點ヨリ阿片小賣人及警察官ノ審査ニ加ヘ醫師カ左記五症狀ヲ標準トシテ認定シ特ニ必要ト認ムルモノノ外ハ期間的觀察ヲ爲サストノ說明ニ對シ委員側ハ何等意見ヲ述フル處ナカリキ

- 一 顔色 帶黃白色ヲ呈ス
- 一 顔貌 浮腫狀ヲ呈スル者多シ
- 一 皮膚 緊張ヲ缺キ血色ヲ失フ

關 東 廳

一 呼 氣 阿片ノ特臭ヲ發スルコト多シ

一 手指端 阿片臭ヲ帶フルコトアリ

(ハ) 密輸出入ノ取締 阿片密輸出入ノ防止方法ニ就テハ其ノ施設豫算及從事員ノ員數並將來ノ計劃等ニ關シ質問アリ此點ニ付テハ數次不滿ノ口吻ヲ洩シタリ警察官署長ニ對シテハ實際取締方法ニ付、司法關係者ニ對シテハ處罰ノ裁量ニ關シ質問シ處罰件數ノ地方的ニ差異甚シキ理由ノ説明ヲ求メタルニ付右ハ生産ノ關係ヨリ阿片ハ多ク北滿地方ヨリ大連ニ麻藥類ハ大連ヲ經由シ奧地ニ輸入セララルルヲ常例トス殊ニ鐵道附屬地ハ阿片ヲ全禁スルカ故ニ阿片違反ハ附屬地ニ麻藥類違反ハ大連ニ多キ旨ヲ述ヘタルニ了承シタルカ如シ

關東州阿片令ニ於テハ阿片ノ積替ニ關スル規定ナキカ如何ニ取扱フヤトノ質問アリ依テ規則ニハ規定セサルモ國際條約ノ範圍内ノモノニシテ不正取引ノ虞ナキモノニ限り積替ヲ認ムル方針ナル旨答辯セリ更ニ阿片買入ニ當リ「シベリア」阿片ノ包裝内容形狀等ヲ質問シ

關 東 廳

B-0908

0303

暗ニ「ヘルシヤ」阿片ノ浦鹽經由逆輸入ナラサルヤヲ疑ヒタル様ナ
リキ

(ニ)密吸食者ノ取締 密吸食者ノ取締ニ就テハ説諭放還又ハ診斷認定ノ
上吸食ヲ許可スルハ寛ニ過キサルヤノ意ヲ洩シ小賣人ニ於テ吸食セ
シムルハ規定ニ反スルニアラスヤトノ質問ニ對シ吸煙ノ特許ヲ受ケ
タル者カ小賣所ニ於テ便宜吸食器具ノ貸與ヲ受ケ單ナル吸食ヲ爲ス
ハ差支ナキモノトシ故ニ小賣所ハ煙館ト解釋セス當方ニ於テハ阿片
吸食ト同時ニ他ノ娛樂設備アル場所ヲ煙館ト指稱シ實際取締方面ヨ
リ之ヲ視ルトキハ小賣所ニ於テ吸煙セシムル方却テ便ナリトモ思料
セララル節アル旨ヲ説明セルモ委員側ト煙館ノ解釋ニ關シ意見ノ相
違アリタリ

吸煙殘渣タル煙灰ノ處理ニ就テハ實際問題トシテ規定ヲ勵行スル點
ニ乏シク成績ノ見ルヘキモノナキヲ指摘セリ

(ホ)阿片收入ノ使途 阿片ニ依ル歲入出ト一般歲入出トノ關係ヲ詳細ニ

關 東 廳

特ニ阿片歲入ヲ以テ阿片中毒防止施設ニ充當シアルヤ否ヤノ質問ニ
對シテハ當廳トシテハ歲入ハ一般歲入ニ繰入レアルヲ以テ專賣局及
救療所ノ經費以外ハ的確ニ統計的數字ヲ舉ケ説明シ得ス稍々困窮シ
タリ此點將來考慮ヲ要スヘシ

(ニ)中毒豫防施設 阿片中毒防止施設ニ關シテハ從來會屯長(町村長ニ
當ル)會議等ニ於テ訓示ヲナシ中毒防止ニ努メ又支那人小學校教科
書中ニハ阿片ノ害ヲ誠メアルモ特別ニ麻藥類使用防止ニ關スル教育
事業ト認ムヘキ施設ヲナシタルコトナク又民間ニ於テモ之等ノ防止
計劃ノ團體ナク將來ニ對スル之カ計劃ヲ説明シ置キタリ新ニ配布シ
タル中毒防止ノ宣傳印刷物ヲ見何時頃ヨリ配布シタリヤ等ノ質問ヲ
發シタリ

(ト)中毒者ノ治療施設 中毒者ノ治療施設トシテハ當廳ニ於テ聊自信
ル施設ヲナシ居ルヲ以テ此點ニ對シ充分ノ紹介ヲナサムト準備シタ
リ 即チ當廳救療所ハ大正十三年ノ開設ニシテ爾來變質劑療法ヲ採用

關 東 廳

シ其ノ成績七〇%ノ全治率ヲ示シ又之カ療法ノ比較トシテ慶大ノ阿部教授ノ報告ニ係ル癮者治療法ヲ複試セムカ爲同教授ヲ同廳ノ囑託トシ來滿ヲ求メ滿鐵衛生研究所兒玉博士ニ中毒患者ヲ送リテ實驗シ更ニ此療法ヲ臨床的ニ大連慈惠醫院入院患者ニ試ミツツアリ又阿片「モルヒネ」中毒ノ基礎的研究ヲ助成セム爲當廳保管ノ阿片「モルヒネ」ヲ研究資料トシ滿鐵衛生研究所病理科大連醫院病理科奉天醫科大學藥物科同病理科ニ提供シ動物實驗其ノ他ノ業績ヲ完成セシメタルヲ以テ之等ヲ紹介セシニ基礎學的研究ニ至リテハ専門家ニアラザルヲ以テ理解ニ乏シキカ如クナリシモ實地ニ患者ノ治療方法ヲ參觀セシメタルニ其ノ療法及全治率ノ好成績ナルニ興味ヲ持テタルカ如シ

關 東 廳

支那人共ニ現關東州阿片制度ヲ是認シ其ノ效果ニ至リテハ寧ロ支那側ノ取締徹底スルニアラザレハ期シ難シト云フニ一致セリ當廳ノ調査及豫想ト民間訪問者側ノ答ト合致セサリシ點ハ移動苦力中ノ阿片中毒ハ相當率アリトノ當局ノ説明ニ對シ民間訪問者ハ僅少ナリトシ生阿片喫食煙灰喫食者ナシト説明セルニ對シ存在スト答へ居ル點ナリ

以上ノ事項ハ主トシテ文書ニ依ル質問應答ニシテ實地視察ニ當リテハ注目スヘキ質問要求ナク聯盟側ニ對スル報告資料ト爲スヘキモノノ聚集ニ努ムル傾向アリタリ

四 委員ニ對シ説明ノ充分満足セシメ得サリシ點

(イ) 法令不備ノ時代ニ於ケル統計的數字ニ關スル説明ハ根據明方ナラサルニヨリ充分満足セシムルコト能ハサリキ

(ロ) 小賣所ニ於ケル特許吸煙者ニ對スル吸煙設備ハ其ノ程度形式ニ於テ煙館ト解釋セサル點ハ委員側ト見解ヲ異ニセリ

關 東 廳

(イ) 阿片歳入ヲ阿片吸食等ノ防止事業ノ支出ニ充當シタル豫算及決算ヲ明示スル統計的資料尠ナキ點ハ不滿ヲ感セシメタルナラム

(ニ) 中毒防止施設ニ關シ熱心ヲ缺キタル感ヲ與ヘタルモ治療研究ノ方面ニ於テ好感ヲ持シタルカ如シ

(ホ) 阿片輸送ノ積替規定 煙灰處理ニ關スル細密ナル規定ノ未制定ハ實際運用ニ支障ナキモ不安ヲ感セシメ生阿片ヲ癮者ニ供給スルコトハ阿片喫食者ヲ増加スルニアラスヤトノ懸念ヲ抱カシメタルヤニ思料ス

五 將來ノ方針

當廳阿片政策ハ因襲ノ久シキモノアリテ容易ニ改善セラレザリシ處ナルカ聯盟委員渡來ニ當リ銳意準備調査ヲ爲シタル處國際阿片條約ノ精神ニ副フヘク尙改善ヲ要スヘキ點ヲ認メタルニ依リ將來更ニ法制ノ系統缺陷ヲ整備シ實際取締機關ヲ充實シ收入主義ニ重キヲ置カサル阿片政策ヲ漸次確立シ中毒防止施設、治療機關ノ充實ヲ期スヘク目下具體

關 東 廳

案 考 究 中 ナ リ

關 東 廳

公 信 案

文書課長

文書課發送 昭和五年七月五日發送済

淨書

正(原稿)

(淨書)

主 管 條約局長

主 任 條約第三課長

(起草昭和五年七月廿三日)

修三機密第一

昭和五年七月四日

附 屬 書

通

受信 在巴里

發信

人名 佐藤聯盟事務局長

幣 原 大 臣

件名

國際聯盟極東阿片吸食事情調査委員ノ視察状況ニ關スル件

名 込 綴

別紙字送付ス

別紙 (南東方事務局長ヨリ南條中三九五号)

公 信 案

外 務 省

公 信 案

文書課長

昭和五年八月五日發送済

文書課發送

淨書

正(原稿)

(淨書)

(淨書)

主 管

條約局長

主 任 南條中三

(起草昭和五年八月廿三日)

修三機密第一

昭和五年八月五日發送済

附 屬 書

通

受信 官渡總督府

發信

人名 石井警務局長

松 永 保 任 乃 長

件名

國際聯盟撤遣極東阿片吸食事情調査委員ノ調査資料交付件

名 込 綴

四月百附貴信警衛部五三九号 第一表書類

(但し英文 Information section)

As primary questions (除リ) 及第二表書類 (邦文及翻譯文) 各二部御

送付相煩度

公 信 案

外 務 省

23 74

24 26

B-0908

0307

公文書案

附屬別便

文書課長

文書課發 昭和五年九月壹日 發送簿

淨書

正校(原稿)

入

(淨書)

10

(原議用紙甲)

主 管

條約局長

主任

條約局長

臨時

昭和五年八月廿一日

附屬書

通

條三

機密

普通第一一九

號

昭和五年八月廿九日

日

附屬書

通

受信

在巴里

人名

佐藤聯盟事務局長

發信

人名

幣原

大臣

件名

國際聯盟派遣極東阿片吸飲事情
調査委員ニ調査資料交付ノ件

名 込 綴

台湾總督府敬告 務局長ヨリ別紙字通リ申越了之付當有三枚

段ニ付 Information concerning the opium questions 兼四部送付ス三部

極東阿片調査委員ニ御交付相成木十部ノ黄事務南十度

公文書案

外務省

3.2

乙 號 6

別紙

在并極事務局長ヨリ 幣原外五三九号字 附屬書

送付書款

Information concerning the opium questions 四部其傳

外務省

B-0908

0308

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

COPY

(P 1977/1468/87)

Extract from Minutes of Fourteenth Plenary Session
of Hague Conference, Friday, December 22nd, 1911.

Sir Cecil Clementi Smith made the following statement:

"The British Delegation withdraws its vote ad referendum
"on Chapter II (prepared opium) Resolution 1 which is as
"follows:

"Les Gouvernements participants à la Conférence
"s'engagent à prohiber l'importation et l'exportation
"de l'opium préparé."

"It desires that its vote may be recorded in the affirma-
"tive on the understanding that the Resolution does not inter-
"fere with the arrangements for the preparation and distribu-
"tion of opium in the Malay Peninsula or elsewhere in His
"Majesty's Dominions, which are clearly a question of internal
"as opposed to international traffic."

B-0908

0309

the signature of the Geneva Agreement, and contained in their letter to the Secretary General of the League of Nations of the 30th July, 1925, of which I also enclose a copy, since this refers only to "existing arrangement" for the supply of prepared opium by the Straits Settlements Monopoly.

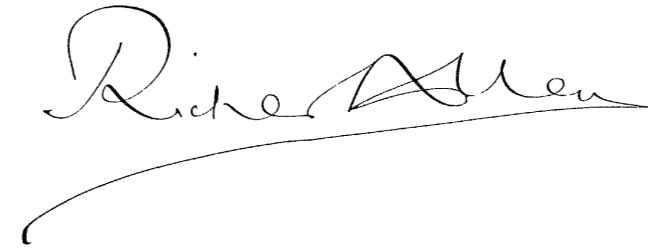
6. In the circumstances, His Majesty's Government desire to obtain the consent of the other signatories of the Agreement to the proposal that a special exception should be made in the case of Sarawak and North Borneo, and that any arrangement for the supply of prepared opium from the Government Factory at Singapore to the authorities of these territories should not be regarded as breach of the provisions of Article 6 (1) of the Agreement. In this connection I am desired to point out that Sarawak and North Borneo are within the sphere of the Governor of the Straits Settlements in his capacity as British Agent for Borneo, and that the proposed extension of the existing arrangement to cover these territories is such as was envisaged in the British declaration at the Hague in 1911. The competent authorities in the Straits Settlements and Sarawak are moreover thoroughly satisfied that the new arrangement will undoubtedly/

undoubtedly result in a greatly increased efficacy of control over the consumption of opium, and will thereby further the object of the Geneva Agreement.

7. In view of the desirability of giving early effect to the extended arrangement, His Majesty's Government would be most grateful to learn as soon as possible whether the Imperial Government feel able to consent to the proposed arrangement.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(For His Majesty's Ambassador)



British Embassy,

Tokyo.

No. 137

July 11, 1930.

Your Excellency,

條約局

I have the honour to inform Your Excellency that with a view to the better prevention of smuggling, and generally to the increased efficacy of control of the consumption of prepared opium, the Government of Sarawak desire His Majesty's Government in the United Kingdom to extend, as early as possible, to embrace Sarawak, the existing arrangement whereby, for convenience and efficiency of administration, the whole of the supply of prepared opium for consumption in the British Possessions and Protectorates in the Malay Peninsula and the State of Brunei in the Island of Borneo, is manufactured in the Straits Settlements Factory at Singapore.



2. At the same time, His Majesty's Government in the United Kingdom wish to provide for the possibility that it might similarly be desirable, at some future date, to extend the arrangement also to the State of North Borneo.

3. His Majesty's Government have had under consideration the question whether such an extension to Sarawak and North/

His Excellency,

Baron Kijuro Shidehara,

H.I.J.M. Minister for Foreign Affairs.



- 2 -

North Borneo is permissible having regard to the provisions of Article 7 of the International Opium Convention signed at the Hague on 23rd of January, 1912, and Article 6 of the International Opium Agreement signed at Geneva on the 11th February, 1925.

4. In regard to Article 7 of the Hague Convention, His Majesty's Government consider that the reservation made by the British Delegation, and contained in the official minutes of the Fourteenth Meeting of the Hague Conference on the 22nd December, 1911, of which I enclose an extract for convenience of reference, covers the proposed extension in respect of Sarawak as well as of North Borneo, both these territories being regarded as part of the British Empire within the meaning of that phrase as used in the said reservation.

5. In regard, however, to Article 6 (1) of the Geneva agreement, His Majesty's Government realise that the proposed extension cannot be claimed as being in strict accordance with it, since the Article explicitly prohibits the export of prepared opium from any Possession or Territory, nor could it be held to be covered by the reservation made by His Majesty's Government in regard to the/

B-0908

0311

公 信 案

文 書 課 長

栗原

文書課發送 昭和五年九月四日

淨書

正校(原稿)

三浦

(淨書)

三浦

附屬封

(原議用紙甲)

主 任

修三 楠

主 任

修三 楠

昭和五年九月三日

日 誌

附 屬 書

通

三浦

三浦

三浦

三浦

修三 楠

普通第一 八七

號

昭和五年九月三日

日 誌

附 屬 書

通

三浦

三浦

受信 台湾 總督府

人名

石井 榮 務 為 長

發 信 人名

松本 修 三 郎 長

件 名

國際聯盟派遣極東阿片吸飲事情調査委員之調査資料交付件

名 込 綴

四月二日附貴位衛第五三九号ヲ以テ御申越、件ニ関シ別紙ノ通り訂

正、上國際聯盟派遣極東阿片調査委員ニ交付方取計置キルニ

付右ニ御了取致シ後

公 信 案

別紙(1) 送付件
concerning the opium business
外 松本修三郎長

3 95

B-0908

0312

秘

作

北

昭和5 一三二五七 平

壽府 本省

九月八日 七日後發 前着

條三

幣原外務大臣

佐藤聯盟事務局長

第八〇號

阿片極東實地調査委員長ヨリ五日附本官宛書翰ヲ以テ同委員ノ關東
州滯在中調査シ得サリシ一九二四年ヨリ一九二九年ニ至ル六年間各
年度ノ南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル生阿片及吸引阿片並各種麻藥類ノ
押收數量ニ關シナルヘク十月初迄ニ關東廳ヨリ通報ヲ得タキ旨申越
シタルニ付テハ右至急關東廳當局ニ御傳達ノ上何分ノ儀同期日ニ間
ニ合フ様御回報相成様致度シ

電信寫

寄外

公 信 案

文書課長

文書課發送

昭和五年九月九日

發送済

正校(原稿)

(文) (淨書)

別紙

(原議用紙甲)

主 管 條約局長

主任

條約局長

(起草昭和五年九月八日)

昭和五年九月八日

機密 第三普通第

五

昭和五年九月九日

日解

附屬書

通

受信 招防有

人名 殖田 殖彦 局長

發信

人名 松永 條約局長

名 込 綴

件名 極東阿片調査委員ニ関スル件

佐藤聯盟事務局長ヨリ別紙ノ通り未電アリタルニ付可然御取

計相成度

別紙 佐藤聯盟事務局長ヨリ八月八日付電

懸案

公 信 案

外 務 省



事務
分
行

電信寫

昭和5 一四〇〇四 暗 壽府 九月廿三日 發 條三

幣原外務大臣 佐藤局長

第九八號

客月八日附極東阿片調査委員長「エクストランド」ヨリ臺灣總督
及關東長官宛同地方調査資料ノ公表承認方直接電報セルニ對シ双
方ヨリ其ノ公表ニハ同意シ難キ旨返電アリタル趣ナルカ他ノ調査
地方官憲ハ調査委員ニ提供セル全部ノ文書資料ノ公表ヲ承認シタ
ル由ナルヲ以テ我方ノ之ヲ拒否スルハ如何カト思考セララルニ
付テハ臺灣及關東廳ヨリ提出ノ資料モ調査委員報告附屬書トシテ
出版公表方承認相成様其ノ筋ト御交渉ノ上何分ノ御回電ヲ請フ

尙是等書類中（臺灣ノ分ハ委員質問書ニ對スル總督府ノ回答及説明
書關東廳ノ分ハ同上質問書ニ對スル關東廳回答追補回答及説明書）
公表ヲ不便トセラルル分アラハ其ノ部分御回報次第先方ニ對シ削除
方交渉致スヘク同委員長モ日本側ニテ欲セラレサル文書ノ公表ヲ強
テ要求セントスル趣旨ニアラサル旨繰返シ本官ニ申述ヘタリ



條約局

殖二第七七三號

昭和五年十月四日

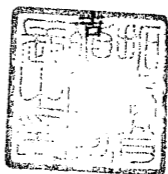
拓務省殖産局長 殖田 俊

外務省條約局長 松永 直吉 殿

極東阿片調査委員ニ交付ノ調査資料出版

公表方ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ御來照ノ趣了承右答辯書ハ全然其ノ刊行ヲ拒絕シタルモノニアラ
スシテ聯盟各國政府ニ配布セラルルハ妨ケサルモ一般發賣用トシテ其ノ儘出版セ
ラルルコトハ同文書中將來ノ政策ニ關スルモノアリ又數字等ノ如キモ相當機微ニ



和昭五年拾月六日 接受

拓務省

タイプライター用紙 製造 敬

亘ルモノアルヲ以テ之ヲ希望セサル旨回答シタル次第ニテ右答辯書ヲ委員報告ノ
資料トシテ利用セラルルハ固ヨリ異存ナキ儀ニ付右可然了解方御取計相成度

拓務省

B-0908

0316

條約局

殖二第七七三號

昭和五年十月二十四日

拓務省殖産局長 殖田 俊

外務省條約局長 松永直吉 殿

極東阿片調査委員ニ關スル件

九月九日附條三普通第五一三號ヲ以テ御照會ニ係ル首題ノ件左記ノ通ニ有之候條
可然御取計相成度

追テ其ノ數量ハ未ダ年報ニモ記載セラレザルモノニシテ之ヲ金額ニ見稱ルトキ
ハ關東廳「阿片特許料並ニ專賣益金」ノ四分八厘乃至一割九分ニ相當スルヲ以



昭和五年拾月廿五日接受
別紙添附

拓務省

テ本數字ヲ國際聯盟ニ提示スルコトニ關シテハ充分考慮アリ慶旨同屬ヨリ申越
ノ次第有之候ニ付申添候

種 類	一、九二四年	一、九二五年	一、九二六年	一、九二七年
生阿片	六一三、五五二瓦	一、七一三、七三三瓦	三、七二〇、〇九八瓦	三、五六一、一三五瓦
阿片煙膏	二、七七五	一、三三八	二、一五	一
モルヒネ	二、九二五	一、六三三	六、九三三	一、二六七一
コカイン	四、〇二〇	一、一七〇	一、一七〇	五、一七八
ヘロイン	一	一	一	一
其ノ他	一	一	一	一
計	六四一、二七二	一、七三三、四〇二	三、七九〇、八二〇	三、五七九、〇九七

拓務省



B-0908

0317

種 類	一、九二八年		一、九二九年		計
	瓦	計	瓦	計	
生阿片	一、五一〇、四六三		一、二九〇、〇六五		一、三、四〇八、〇四六
阿片煙膏					四三二八
モルヒネ	三四、二三〇		一五、四七五		一、六九九、六六九
コカイン	一、四八五		一、一九三		一、三〇、四六
ヘロイン	五、二七〇		五、八九		五、八五九
其ノ他			五〇一七		五、一三〇
計	一、五五一、四四八		一、三一三、三三九		一、二、六〇六、三七八

備 考 「其ノ他」ハモルヒネ、コカインノ混成品トス

招 務 省

タイプライター用紙美濃半紙

B-0908

0321

公 信 案

別紙

原簿用紙甲

文書課長 昭和五年九月七日發送済

昭和五年九月七日

主 管 條約局長

主任 條約第三課長

機密 第五十八

昭和五年九月六日

受信 招待有

人名 延田 延彦 局長

發信 人名 杉永 保 局長

件名 極東河川調査委員の委任調査

資料新出版公表方の関係件

級 込 名

今般左巴里佐藤縣盟事務局長より別紙一通、来電あり

付委細右等御了承の上、出版公表方、向し何分、候至急

懸案

向目子左後度

公 信 案

抄紙 (附録) 極東河川調査委員の委任調査

省

26-129

B-0908

0322

電信寫

永

化

永

昭和5 一四六〇二 暗

本府 本省

十月五日 前着

條三

幣原外務大臣

佐藤局長

第一一二號

往電第九八號ニ關シ

「エキストラランド」ヨリ今回調査委員會ニテ改メテ協議ノ結果問題
ノ文書ハ調査委員ノ報告附屬書トシテ出版スヘキモ臺灣總督關東長
官ノ要求通り聯盟國政府ノミニ配布スル事トシ一般公衆ニハ發表セ
サル事ニ決定シタルニ付前回ノ申出(同往電ノ件)ハ撤回スヘク無
用ノ御手数數ヲ掛ケ恐縮ノ旨申越セリ右關係ノ筋へ御傳ヘテ請フ尤モ
調査委員報告書ハ公表ノ筈

公 信 案

別紙

文書課長

文書課發送

昭和五年拾月七日

發送済

淨書(本)

校(原稿)

河野

(淨書)

原議用紙甲

6 75

主 管 條約局長

任 條約第三課長

(起草昭和五年十月六日)

修 三機密 普通 第五九

號 昭和五年拾月六日

附屬書

通

受信

拓務省

發信

人名

磯田 彌彦局長

人名

小沢 條約局長

件名

極東阿片消費要約之交付の件

綴 込 名

九月廿六日附往信條三機密第五九号ニ関シ在學信條三機密第五九号ニ付
長官別紙ノ通り米會同ニ付要約右ノ通り奉付スルニ付

機密

公 信 案

外 務 省

2.2

B-0908

0324

FOREIGN OFFICE, S. F. I.

50th July, 1925.

2027
(S/2189/9/07)

SIR,

With reference to your letter O.L.21.1925.V of March 1924 last regarding the ratification of the agreement adopted by the first International Opium Conference at Geneva on February 11th last, I am directed by Mr. Secretary Chamberlain to state, for the information of the Council of the League of Nations and of the States signatory to the agreement, that His Majesty's Government are prepared to ratify the agreement and the protocol thereof without excluding from the operation of those documents any of the British possessions and protectorates in the Malay Peninsula or the State of Arunai in the Island of Borneo.

2. His Majesty's Government desire, however, to place it on record that the agreement was signed on their behalf on the understanding that no intarference will be caused by article VI in the existing arrangements whereby, for convenience and efficiency of administration, the whole of the supply of prepared opium for the above-mentioned possessions and protectorates is manufactured in the Straits Settlements Government Factory at Singapore. In view of the declaration made at the Opium Conference held at The Hague in 1911 in regard to the interpretation of article VII of the convention signed at that conference and the fact that those arrangements have never been called in question, His Majesty's Government do not conceive that any objection would be taken to the continuance of the present arrangements, which undoubtedly facilitate the exercise of control over the consumption of opium; but having examined with great care the wording of article VI of the present agreement, they have thought it desirable to make their position in this matter quite clear in order to remove any possibility of misunderstanding in the future.

I am, etc..

The Secretary General,
League of Nations,
Geneva.

(Sgd.) S. P. CRADDOCK.

B-0908

0325

公 信 案

文書課長

文書課發 昭和五年拾月八日 發送済

主 任 條約局長

主 任 條約局長

修三機密第二二八號

昭和五年拾月七日

附屬書

通

受信 在巴里

人名 佐藤 聯 事務局長

發信 人名 智 勇

件名 極東阿片調査委員會ニ交付ノ調査
資料ノ取次及報告ニ関スル件

綴 込 名

本件ニ関シ別紙字ノ通り拓務省ヨリ申越サラルニ付阿片調査委員
員ニ對シ説明ナク様御説明相成度

懸案

公 信 案

公 信 案

文書課長

文書課發 昭和五年拾月八日 發送済

主 任 條約局長

主 任 條約局長

修三機密第二二八號

大 昭和五年拾月七日

附屬書

通

受信 在巴里

人名 佐藤 聯 事務局長

發信 人名 智 勇

件名 極東阿片調査委員會ニ付ノ南滿鐵道
附屬地ニ於テノ押收數量報告ノ件

綴 込 名

專府發賣電第八〇号ニ関シ別紙拓務省未付書送付ス

別紙 (拓務省未付書送付ス) 延ニ才七三号附屬地ニ於テノ押收數量報告ノ件

懸案

公 信 案

外 務 省

別紙

(原議用紙甲)

別紙

(甲號用紙)

27 100

7 57

B-0908

0326

急

急

本報第一頁文
一頁送付

普通聯本公第 四一號

昭和六年一月十三日

在巴里

國際聯盟帝國事務局長佐々木

外務大臣 田代三喜 常原七郎 重部 毅

極東阿片調查委員報告送付件

阿片吸飲状況調査ノ為極東ニ派遣セル調査委員ヨリ理事會ニ
提出スル本件報告 Volume I. Report with comparative tables,
maps and illustrations (C. 635. M. 254. 1936 II) 今般聯盟事務局
ヨリ送付アリタル件右英佛文各三部茲ニ進達スル查閱相成ヌ

國際聯盟帝國事務局

送達名
三
6.2.14
文書

昭和六年一月十三日

普通聯本公第 六八號

昭和六年一月二十三日

在巴里

國際聯盟帝國事務局長 澤田 節

外務大臣 田代 三喜 重部 毅

極東阿片調查委員報告ニ因ル中華ニ
國代表書翰送付件

今般聯盟事務局ヨリ別紙 (C. 81. 1931. II. O.C. 1352) 送付アリ阿片
諮問委員會ノ中華ニ因代表リ事務局長佐々木書翰ヲ以テ極
東阿片調查委員ヨリ理事會ニ提出ス報告中ニ因テ國ニ
記事ニ付抗議スル者アリテ送付ス

國際聯盟帝國事務局

昭和六年一月二十三日

illicit exportation of opium manufactured or prepared in China, and I deny this allegation. The national Government cannot control its subjects abroad and can take no responsibility for the actions of the "Chinese smokers" abroad, whom the Report insists upon holding answerable, as long as foreign monopolies continue to derive revenue from the opium smoked, and this is tolerated internationally.

I would therefore request you to communicate this reservation to the Rapporteur, to incorporate the Chinese protest in the Rapporteur's Note and to provide for the representation of China upon the Council during the consideration of this matter, in accordance with Article 4 of the Covenant.

The National Government of the Republic of China has clearly stated its position. It is doing everything in its power to combat in its own territory the social scourge of opium and narcotic drugs. It has, during the last few years, issued laws definitely prohibiting the use of these drugs, and proof of the continued progress made in this direction is to be found in the opium files at the Secretariat of the League of Nations. The Chinese Government demands that the opium den monopolies be entirely abolished as was done by the United States in the Philippines. It further demands the establishment of national monopolies set up by all the countries which produce or prepare opium, the supervision of the cultivation of the poppy and control over the supply of raw materials upon

delivery at the factory and of the issue of the finished products for medical or scientific use. It protests against the liberty to smoke opium accorded by the national monopolies on their territories to Chinese nationals as being foreigners and against the illicit traffic which is carried on in China, for which the Chinese Government is in no way responsible and which is due to the inexplicable tolerance of the ex-territorial police forces and to the absence of a strict supervision.

I would ask you, Sir, to regard the present communication merely as the expression of China's sincere desire to observe her engagements as a member of the League of Nations.

(Signed) WOO KAISENG

Minister Plenipotentiary,

Chinese Representative on the
Advisory Committee on Opium and
Other Dangerous Drugs.

RECEIVED BY JAPON
Recu le 22 JAN 1931
A LA S.O.N. PARIS

LEAGUE OF NATIONS.

C.61.1931.XI.
O.C.1352.

Geneva, January 17th, 1931.

REPORT OF THE COMMISSION OF ENQUIRY INTO THE CONTROL
OF OPIUM SMOKING IN THE FAR EAST.

(Item 19 on Agenda of 2nd Session of the Council)

Letter from the Chinese Representative on the
Advisory Committee on Traffic in Opium and
other Dangerous Drugs.

Note by the Secretary-General.

The Secretary-General has the honour to circulate to the Council and also to the Advisory Committee on Traffic in Opium and other Dangerous Drugs the following letter from the Chinese representative on the Advisory Committee, referring to the Report of the Commission of Enquiry into the Control of Opium Smoking in the Far East.

- 1 -

Translation.

Permanent Office of the Chinese
Delegation to the League of
Nations.

Geneva, January 16th, 1931.

Sir,

I have the honour to inform you that it was with some surprise that I read the "Report to the Council" submitted by the Commission of Enquiry into the Control of Opium Smoking in the Far East. You will no doubt remember that my Government did not invite this Commission to Chinese territory, the Chinese proposal for the general extension of the enquiry to the countries which produce or prepare opium and its derivatives and for the participation of China in the enquiry having been rejected by the Assembly in 1926. The Commission was therefore not entitled to submit observations with regard to Chinese territory. Moreover, the statements with regard to China contained in the report appear to be tendentious and ill-founded.

I must protest, in particular, against the Commission's strictly personal statement (pages 37 and 38 of the Report) on the present position with regard to the problem in China. Nor is the Commission of Enquiry justified in speaking of the

B-0908

0329

1420
6 2 17 - 6 10

文書課發送	昭和六年貳月廿日	發送	文書課發送
普通第一五四號	大正	昭和六年二月十九日	附屬書
主 任	主 任	主 任	主 任
受 信 人 名	受 信 人 名	受 信 人 名	受 信 人 名
田 務 省 田 務 省 長	田 務 省 田 務 省 長	田 務 省 田 務 省 長	田 務 省 田 務 省 長
件 名	件 名	件 名	件 名
阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付
送 出	送 出	送 出	送 出
阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付
件 名	件 名	件 名	件 名
阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付
送 出	送 出	送 出	送 出
阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付
件 名	件 名	件 名	件 名
阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付
送 出	送 出	送 出	送 出
阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付

附屬物同封

電信課長	電信課長	電信課長	電信課長
主任	主任	主任	主任
阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付
件 名	件 名	件 名	件 名
阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付
送 出	送 出	送 出	送 出
阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付
件 名	件 名	件 名	件 名
阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付
送 出	送 出	送 出	送 出
阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付	阿片收買状況調査委員報告送付

19 111

B-0908

0330

急

系

附屬

普通聯本公第一一八號

昭和六年二月十日

在巴里

國際聯盟帝國事務局長 澤田 節

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

極東阿片吸飲事情調査委員報告送付ノ件

客年極東之派遣セル國際聯盟極東阿片吸飲事情調査委員報告書之送付ニ置キタル處（一月十三日附普通聯本公第一一號）今回聯盟事務局ヨリ配布ノ分四部茲ニ追送ス

國際聯盟帝國事務局

附屬

普通聯本公第一一八號

昭和六年二月二十日

在巴里

國際聯盟帝國事務局長 澤田 節

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

極東阿片吸飲事情調査委員報告送付ノ件

二月十八日附黃電第一九号ヲ以テ請求スル極東阿片事情調査委員報告英文十部ヲ送付ス

國際聯盟帝國事務局

昭和六年二月十日

附屬書類

昭和六年二月十四日接受
附屬書類

懸案

文書課長 榮

文書課發送 昭和六年參月拾七日發送済

主 任 藤野 大正一 昭和六年參月拾七日

普通 第一二一六 號

受信 振務省 延任局長

人名 延任局長

件名 極東阿片吸飲事情調査 報告書送付

標記 報告書送付

公 信 案

外 務 省

17 88

文書課長 榮

文書課發送 昭和六年參月六日 發送済

主 任 藤野 大正一 昭和六年參月六日

普通 第一一九二 號

受信 拓務省 殖産局長

人名 殖産局長

件名 極東阿片吸飲事情調査委 員報告送付一件

別紙 (見付)

公 信 案

外 務 省

6 3

附屬物同封

B-0908

0332

illicit exportation of opium manufactured or prepared in China, and I deny this allegation. The national Government cannot control its subjects abroad and can take no responsibility for the actions of the "Chinese smokers" abroad, whom the Report insists upon holding answerable, as long as foreign monopolies continue to derive revenue from the opium smoked, and this is tolerated internationally.

I would therefore request you to communicate this reservation to the Rapporteur, to incorporate the Chinese protest in the Rapporteur's Note and to provide for the representation of China upon the Council during the consideration of this matter, in accordance with Article 4 of the Covenant.

The National Government of the Republic of China has clearly stated its position. It is doing everything in its power to combat in its own territory the social scourge of opium and narcotic drugs. It has, during the last few years, issued laws definitely prohibiting the use of these drugs, and proof of the continued progress made in this direction is to be found in the opium files at the Secretariat of the League of Nations. The Chinese Government demands that the opium den monopolies be entirely abolished as was done by the United States in the Philippines. It further demands the establishment of national monopolies set up by all the countries which produce or prepare opium, the supervision of the cultivation of the poppy and control over the supply of raw materials upon

delivery at the factory and of the issue of the finished products for medical or scientific use. It protests against the liberty to smoke opium accorded by the national monopolies on their territories to Chinese nationals as being foreigners and against the illicit traffic which is carried on in China, for which the Chinese Government is in no way responsible and which is due to the inexplicable tolerance of the ex-territorial police forces and to the absence of a strict supervision.

I would ask you, Sir, to regard the present communication merely as the expression of China's sincere desire to observe her engagements as a member of the League of Nations.

(Signed) WOO KAISENG

Minister Plenipotentiary,

Chinese Representative on the
Advisory Committee on Opium and
Other Dangerous Drugs.

LEAGUE OF NATIONS.

C.81.1931.XI.
O.C.1352.

Geneva, January 17th, 1931.

REPORT OF THE COMMISSION OF ENQUIRY INTO THE CONTROL

OF OPIUM SMOKING IN THE FAR EAST.

(Item 19 on Agenda of 62nd Session of the Council)

Letter from the Chinese Representative on the
Advisory Committee on Traffic in Opium and
other Dangerous Drugs.

Note by the Secretary-General.

The Secretary-General has the honour to circulate to the Council and also to the Advisory Committee on Traffic in Opium and other Dangerous Drugs the following letter from the Chinese representative on the Advisory Committee, referring to the Report of the Commission of Enquiry into the Control of Opium Smoking in the Far East.

Handwritten notes in Chinese characters, including '李' and '胡'.

- 1 -

Translation.

Permanent Office of the Chinese
Delegation to the League of
Nations.

Geneva, January 16th, 1931.

Sir,

I have the honour to inform you that it was with some surprise that I read the "Report to the Council" submitted by the Commission of Enquiry into the Control of Opium Smoking in the Far East. You will no doubt remember that my Government did not invite this Commission to Chinese territory, the Chinese proposal for the general extension of the enquiry to the countries which produce or prepare opium and its derivatives and for the participation of China in the enquiry having been rejected by the Assembly in 1926. The Commission was therefore not entitled to submit observations with regard to Chinese territory. Moreover, the statements with regard to China contained in the report appear to be tendentious and ill-founded.

I must protest, in particular, against the Commission's strictly personal statement (pages 37 and 38 of the Report) on the present position with regard to the problem in China. For is the Commission of Enquiry justified in speaking of the

B-0908

0334

條約附
善通 聯不公第三四七號

昭和六年四月二十五日

在巴里

國際聯盟帝國事務局長 澤田 節

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

極東吸飲阿片事情調査委員報告、對スル中國代表

抗議、關スル件

去ル一月開催ノ第六十二回聯盟理事會ニ於ケル極東吸飲阿片事情
調査委員報告審議ノ際中國政府代表 吳凱聲氏ヨリ全報告中
中國ニ關スル議事ニ對シ抗議アリタル次第ニ曩々具申シ置キタ
ル通りナル處右中國代表ノ聲明ニ對シ各國ノ注意ヲ喚起セ

國際聯盟帝國事務局

昭和六年五月廿日 附屬書添附 接受

三
條
三
書

ラレタキ旨全代表ヨリ聯盟事務總長宛申出アリタギル趣ニテ今回
全事務總長ヨリ貴大臣宛別紙ノ通り申越アリタルニ付キ右來信
茲ニ進達ス委曲右ニテ御諒承相成度ニ

國際聯盟帝國事務局

C.L. 78. 1931. XI.

SOCIÉTÉ DES NATIONS.

Genève,

21 AVR. 1931

Le Dr. Woo Kaiseng, Délégué permanent de la Chine auprès de la Société des Nations et Représentant de la Chine à la Commission consultative du Trafic de l'opium et autres drogues nuisibles a adressé, au Secrétaire-Général en date du 15 janvier 1931, une lettre contenant des observations sur le rapport de la Commission d'enquête sur le contrôle de l'opium à fumer en Extrême-Orient (Document C.635.M.254.1931.XI).

Comme suite à cette lettre, communiquée dans le document C.161.M.57.1931.XI, le Secrétaire général a l'honneur, à la demande du Dr. Woo Kaiseng, d'attirer l'attention des Gouvernements sur la déclaration complémentaire faite par ce dernier au sujet du rapport, lors de la séance du Conseil du 22 janvier écoulé: cette déclaration figure dans les procès-verbaux du Conseil qui ont déjà été distribués.

C.L. 78. 1931. XI.

LEAGUE OF NATIONS.

Geneva,

21 APR. 1931

With reference to the letter dated January 15th, 1931, from Dr. Woo Kaiseng, the Chinese Permanent Delegate to the League of Nations and Representative on the Advisory Committee on Traffic in Opium and other Dangerous Drugs, circulated in document C.161.M.57.1931.XI, and containing observations on the Report of the Commission of Enquiry into the control of Opium Smoking in the Far East (Document C.635.M.254.1930.XI) the Secretary-General has the honour, at the request of Dr. Woo Kaiseng, to draw attention to his further statement on the Report made at the Council meeting on January 22nd last. This statement is contained in the Council Minutes, copies of which have already been circulated.

B-0908

0336

C.L. 78. 1931. XI.

LEAGUE OF NATIONS.

Geneva,

21 APR. 1931

With reference to the letter dated January 15th, 1931, from Dr. Woo Kaiseng, the Chinese Permanent Delegate to the League of Nations and Representative on the Advisory Committee on Traffic in Opium and other Dangerous Drugs, circulated in document C.161.M.57.1931.XI, and containing observations on the Report of the Commission of Enquiry into the control of Opium Smoking in the Far East (Document C.635.M.254.1930.XI) the Secretary-General has the honour, at the request of Dr. Woo Kaiseng, to draw attention to his further statement on the Report made at the Council meeting on January 22nd last. This statement is contained in the Council Minutes, copies of which have already been circulated.

C.L. 78. 1931. XI.

SOCIÉTÉ DES NATIONS.

Genève,

21 AVR. 1931

Le Dr. Woo Kaiseng, Délégué permanent de la Chine auprès de la Société des Nations et Représentant de la Chine à la Commission consultative du Trafic de l'opium et autres drogues nuisibles a adressé, au Secrétaire-Général en date du 15 janvier 1931, une lettre contenant des observations sur le rapport de la Commission d'enquête sur le contrôle de l'opium à fumer en Extrême-Orient (Document C.635.M.254.1931.XI).

Comme suite à cette lettre, communiquée dans le document C.161.M.57.1931.XI, le Secrétaire général a l'honneur, à la demande du Dr. Woo Kaiseng, d'attirer l'attention des Gouvernements sur la déclaration complémentaire faite par ce dernier au sujet du rapport, lors de la séance du Conseil du 22 janvier écoulé: cette déclaration figure dans les procès-verbaux du Conseil qui ont déjà été distribués.

B-0908

0337

C.L. 78. 1931. XI.

SOCIÉTÉ DES NATIONS

LEAGUE OF NATIONS

Geneva,

April 21, 1931.

With reference to the letter dated January 15th, 1931, from Dr. Woo Kaiseng, the Chinese Permanent Delegate to the League of Nations and Representative on the Advisory Committee on Traffic in Opium and other Dangerous Drugs, circulated in document C.161.M.57.1931.XI, and containing observations on the Report of the Commission of Enquiry into the control of Opium Smoking in the Far East (Document C.635.M.254.1930.XI) the Secretary-General has the honour, at the request of Dr. Woo Kaiseng, to draw attention to his further statement on the Report made at the Council meeting on January 22nd last. This statement is contained in the Council Minutes, copies of which have already been circulated.

His Excellency,
The Minister for Foreign Affairs,
TOKIO, Japan.

C.L. 78. 1931. XI.

SOCIÉTÉ DES NATIONS.

Genève,

21 AVR. 1931

Le Dr. Woo Kaiseng, Délégué permanent de la Chine auprès de la Société des Nations et Représentant de la Chine à la Commission consultative du Trafic de l'opium et autres drogues nuisibles a adressé, au Secrétaire-Général en date du 15 janvier 1931, une lettre contenant des observations sur le rapport de la Commission d'enquête sur le contrôle de l'opium à fumer en Extrême-Orient (Document C.635.M.254.1931.XI).

Comme suite à cette lettre, communiquée dans le document C.161.M.57.1931.XI, le Secrétaire général a l'honneur, à la demande au Dr. Woo Kaiseng, d'attirer l'attention des Gouvernements sur la déclaration complémentaire faite par ce dernier au sujet du rapport, lors de la séance du Conseil du 22 janvier écoulé: cette déclaration figure dans les procès-verbaux du Conseil qui ont déjà été distribués.

B-0908

0338

秘

極東阿片吸飲事情調査委員會ノ結論及提議ニ關スル件

B-0908

0339

極東阿片吸飲事情調査委員會ノ結論及提議ニ
關スル件

一、綜合的取締措置ノ必要

本項提議ノ主旨ニ異議ナシ。

本邦ニ於テハ既ニ本提議ノ主旨ヲ實行シ阿片ノ不正取引取締上好結果ヲ得ツツアリ。

二、阿片吸食問題ノ學術的研究

本項提議ニ異議ナシ。

本邦ニ於テハ既ニ廣ク阿片吸食問題ニ關スル學術的研究ヲ行ヒ特ニ臺灣ニ於ケル阿片癮者ノ矯正方法ノ系統的研究及其ノ組織的實行ノ如キ阿片吸食問題解決上ニ多大ノ貢獻ヲ爲スニ足ルベキコトヲ確信ス。

三、罌粟栽培ノ國際的統制

本項提議ノ根本主旨ニハ異議ナシ。

但シ罌粟栽培ノ制限ハ吸飲用阿片以外麻藥原料ノ需給及價格構成ニ重大ノ影響アリ阿片生産及消費國ニ廣汎緊密ノ利害關係ヲ有スルヲ以テ之ガ國際的措置ノ實行ハ最モ慎重ノ研究論議ヲ經ルヲ要スベシ。

四、阿片吸食原因禁絶方策ノ勵行

本項提議ニ異議ナシ。

五、不正取引ノ防遏

本項提議ノ主旨ニハ異議ナシ。

但シ取締ノ實行方法ハ各地域ノ實狀ニ適應シタル措置ニ一任セララルルヲ却テ效果的ト認ム。

六、官製阿片煙膏ノ鑑別

本項提議ノ主旨ニハ異議ナキモ實行方法ハ考慮ヲ要スベシ。

七、國際取引ノ統制

本項提議ニ異議ナシ。

本邦ニ於テハ海牙條約及壽府協定ノ規定ニ遵ヒ國內法制ヲ改正整備セリ。

八、專賣阿片ノ賣價引下

本項提議ノ主旨ニ異議ナシ。

本邦ニ於テハ本項提議ノ主旨ニ依リ專賣阿片ノ賣價ヲ調節決定シツツアリ。

九、小賣官營

本邦ニ於ケル現行小賣制度ハ格別弊害ナク運用セラレツツアルヲ以テ之ヲ本項提議ノ通小賣官營ノ制度ニ變更スル必要ヲ認メズ。

十、阿片現金賣

本項提議ニ異議ナシ。

本邦ニ於テハ既ニ實行シツツアリ。

十一、個人消費量ノ統制

本項提議ニ異議ナシ。

本邦ニ於テハ本提議ノ主旨ニ依ル制度ヲ實行シツツアリ。但シ醫師ノ檢診ニ依ル吸食量ノ査定ノ醫學的確實性ニ付テハ猶研究ノ餘地アリト認ム。

十二、未成年者ノ阿片吸食禁止

本項提議ニ贊成ス。

十三、阿片煙館ノ擴張及官營

本項提議ハ各地域ノ事情ニ依リ實行ノ適否ヲ考慮セラルベク本邦トシテハ此ノ

際賛否ノ意見ヲ留保ス。

十四、阿片煙管ノ取締及消費

本項提議ノ主旨ニ異議ナシ。

十五、煙灰ノ取締

煙灰ノ有害性ニ付テハ尙研究ノ餘地アリ、且之カ有效ナル取締ハ著シク困難、認メラルルヲ以テ本項提議ノ實行ノ適否ハ更ニ考慮ヲ要スベシ。

十六、阿片癮者ノ治療

本項提議ニ異議ナシ。

本邦ニ於テハ既ニ有效ナル治療方法ヲ實施シ好結果ヲ擧ケツツアリ。只本提議ニ於ケル強制治療制度ノ實行ハ各地域ノ實狀ニ應シ採否ヲ決定セラルヘキモト認ム

十七、阿片收入

本項提議ノ阿片收入ヲ阿片關係支出ニ充當スベシトスル根本主旨ニハ異議ナシ但シ豫算面上阿片收支ノ對照ヲ容易明瞭ナラシムル爲特別ノ一項ヲ設クルコト又ハ經常豫算ヲ阿片收入ヨリ獨立セシムル形式ヲ採用スルコトハ實益ニ乏シク本邦ノ豫算制度ノ形式及實質上實行至難ナリ。

十八、國際聯盟極東阿片中央局ノ設置

阿片取締ハ各關係國ノ相互ノ直接協力ニ依リ實行セラルベク本項提議ノ如キ態關ノ特設ノ要ヲ認メズ

十九、年報ノ提出

本項提議ニ異議ナシ。

二十、海牙條約及審府協定ノ改訂

第一條第三項 現行第三號規定ニ準ズル除外例ヲ存置シ提案通り改正スルモ敢テ異議ナシ。

第二條 異議ナシ。

第三條 異議ナシ。

第四條 小賣店及煙館ノ官營化ト關聯スルヲ以テ本提案ニ對シテハ贊否ノ意見ヲ留保ス

第五條 本條修訂ハ煙灰ノ有害程度及取締ノ難易ニ付慎重研究ノ上可否ヲ決定セラルベシ。

第六條 本規定ニ關シ轉向ノ問題ヲ考慮スルコトハ異議ナシ。

第七條 本條但書削除ニハ異議ナシ。

第八條 情報交換ノ範圍ヲ擴大スル主旨ニ於ケル修訂ハ異議ナキモ之ガ獎勵ヲ極東局ニ委囑スルコトハ其ノ必要ヲ認メザルヲ以テ其ノ主旨ノ改正ハ贊成シ難シ。

第九條 犯罪人處罰ニ關スル國內法制ノ根本ニ關スル問題ニシテ本邦ニ於テハ目下慎重審議中ニ屬スルヲ以テ此ノ際本條改訂ニ付テハ贊否ノ意見ヲ確定シ難シ。

第十條 本條改訂ニ異議ナシ。

條約司

普通 聯本公第六九六號

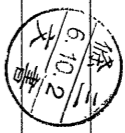
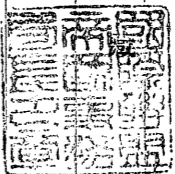
昭和六年九月八日

在 寄附

國際聯盟帝國事務局長 澤田

師

名 込 綴



昭和六年九月八日 附屬書類別便

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

國際聯盟より極東に派遣せる阿片吸飲事情調査
委員報告資料送付一件

一月十日往信普通聯本公第四二号ヲ以テ進達シ里キタル極東
吸飲阿片調査委員報告資料 (Rapport au Conseil de la

Commission Stunguet au Le conseil de l'Aspium à travers un Exposé
Orient. N. II Memorandum détaillé au chaque leur tour visite par

國際聯盟帝國事務局

La Commission) 英文七部佛文一部送付スル件付査因相
成度

國際聯盟帝國事務局

B-0908

0344

電信寫

秘

移學

利
芳澤外務大臣
一月廿八日
澤田局長

第一一號(至急)

往電第三號ニ關シ

理事會ハ遅クニ廿九日迄ニ本件ヲ決定シタキ希望ナル趣ニテ事務局

ヨリ貴方回答督促アリ大至急御回電ヲ請フ(電信課註前電トアルヲ

第三號ト訂正アリタシ)

B-0908

0346

急

Remme
Romane Suisse

電送第1639
昭和七年一月十日

切手有る物

電信課長
電信案

管主 任主 （起草昭和七年一月廿七日） （原議用紙甲）	件 極東防衛の必要を以て極東防衛の 計画を議定するに付し件	宛 在野 澤田修生事務局長	發 芳村 9
暗 第一九號	貴電第其号、内シ一昨年貴電第一二号通各國政社ニ配布 スレト可然儀、本立付一應秘カ速ニ之度加其固執ス ルハカ 案並無キモ、ソテ隨機ノ措置トシテ先方申出ニ同意差 支シ	名込綴	名込綴

電信案 外務省

條約局

條約聯本公第一八號

昭和七年一月十日

在巴里

國際聯盟帝國事務局長 澤田 節

外務大臣 犬養毅 毅

極東防衛調査委員令報告第四卷送付件

本件報告第一卷及第二卷ハ已ニ送付シテ知今般聯盟事
務局ヨリ同第四卷送付ニ事ハ已ニ付テハ却テ送達ス
進中ナリ卷目下印刷中ナリ

國際聯盟帝國事務局

昭和七年一月十日 接受
附屬書類別便
附屬書類

B-0908

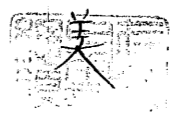
0347

禁烟局
普通 第八八号
昭和八年二月一日
在バタヴィヤ
公領事館事務代理 田畑 澄
美
附属 昭和八年二月八日

昭和八年二月一日

在バタヴィヤ

公領事館事務代理 田畑 澄



外務大臣伯爵内田康 奇 殿

一九三一年度蘭印阿片業報告書送付ノ件

標記 報告書 (Opium fabrick, Java's verslag over 1931) 一册 別紙
ヲ以テ送付ス

在バタヴィア日本總領事館

昭和八年三月二十日

高 裁 案

國際聯盟極東阿片調査委員會報告書 (極東阿片問題)
購入ニ關スル件

國際聯盟派遣ノ極東阿片吸飲事情調査委員會力作成セル報告書 (極東阿片問題) 國際聯盟協會發行定價八十錢) ハ極東ニ於ケル阿片吸飲情況ノ全般ニ亘リ關係政府ノ協力ヲ得テ詳細ニ調査シタル成果ニシテ執務參考書トシテ有益ナルニ付本報告書ヲ六十三部 (合計金五十圓四十錢) 購入シ省内及主要在外公館ニ配布スルコトト致度
右仰高裁

外務省

N. 4

B-0908

0349

昭和八年三月二十三日

文書課長殿

條約第三課長

極東阿片問題配布依頼ノ件

國際聯盟協會發行ノ極東阿片問題左記ニ各一部御配布相煩度

記

文書課、會計課、亞細亞局第二課、亞細亞局第三課、通商局第二課
及條約局第二課

外務省

條三普通合第三二九號

昭和八年三月三十一日

内田外務大臣

(別紙ノ通)計八十五部

國際聯盟極東阿片調查委員會報告(極東問題)

送付ノ件

別添「極東阿片問題」何等參考トシテ保管轉換ス

追テ本省圖書物品會計官吏石川清宛領收書御提出相成度

外務省

B-0908

0350

在外公館一覽表 (開館豫定地ヲモ含ム)

(昭和五年二月現在)

機密合第

號

◎在歐洲	在英大使館	在漢堡總領事館	◎在南北米	在リベロンプレート分館	在シドニー總領事館
	在佛大使館	在里昂領事館	在米大使館	在巴奈馬領事館	在バタビヤ總領事館
	在獨大使館	在安土府領事館	在墨公使館	在里馬領事館	在カルカタ總領事館
	在伊大使館	在里港領事館	在智利公使館	在リオン ツヤネイロ領事館	在孟買領事館
	在伊大使館	在馬耳塞領事館	在伯大使館	在バウルー領事館	在クープタウン領事館
	在白大使館	在スエズ運河 ホルム領事館	在亞公使館	在ニユー カレアンズ領事館	在河内總領事館
	在土大使館	在未蘭領事館	在秘露公使館	在メキシコ總領事館	在坡西土領事館
	在埃公使館	在リスボン出張所	在紐育總領事館	在マサトラン領事館	在スラバヤ領事館
	在蘭公使館	國際聯盟事務局	在桑港總領事館	在サントス出張所	在蘭貢領事館
	在西公使館	國際勞動代表事務所	在市俄古領事館	在紐育商務書記官事務所	在ダバオ分館
	在瑞西公使館	在倫敦商務書記官事務所	在キートランド領事館	在ベノスアイレス事務所	在西貢領事館
	在瑞典公使館	國際聯盟事務局 商務所	在シヤトル領事館	在商務書記官事務所	在ロンボ領事館
	在波蘭公使館	在柏林商務書記官事務所	在羅府領事館	在マンサニョ出張所	在ベレンボ領事館
	在知惠古公使館	在スタンブール 商務書記官事務所	在ホノルル總領事館	◎在亞細亞南洋	在アレキ サンドリヤ總領事館
	在羅馬尼公使館		在カナダ公使館	在暹羅公使館	在ベルシヤ公使館
	在芬蘭出張所		在オタワ領事館	在盤谷領事館	在メダン領事館
	在ラトビヤ公使館		在晚香坡領事館	在香港總領事館	
	在希臘公使館		在聖市總領事館	在新嘉坡總領事館	
	在倫敦總領事館		在ベノスアイレス領事館	在馬尼刺總領事館	

◎在露西亞	在露國大使館	◎在南支那	在九江領事館	◎在北支那	在農安分館
	在浦潮總領事館	在支那公使館	在雲南領事館	在哈爾濱總領事館	在掏鹿分館
	在亞港總領事館	在上海總領事館	在宜昌領事館	在奉天總領事館	在通化分館
	在ハバロフスク總領事館	在天津總領事館	在蕪湖領事館	在吉林總領事館	在海龍分館
	在ハートロフ ツロフ領事館	在漢口總領事館	在坊子出張所	在間島總領事館	在百草溝分館
	在オヂツツ領事館	在廣東總領事館	在張店出張所	在牛莊領事館	在帽兒山分館
	在シベリヤ 分館	在成都總領事館	在上海商務書記官事務所	在安東領事館	在黑河出張所
	在モスク ワ事務所	在青島總領事館		在遼陽領事館	
		在芝罘領事館		在鐵嶺領事館	
		在重慶領事館		在齊々哈爾領事館	
		在厦門領事館		在滿洲里領事館	
		在蘇州領事館		在張家口領事館	
		在杭州市領事館		在赤峰領事館	
		在沙市領事館		在鄭家屯領事館	
		在長沙領事館		在新民府分館	
		在南京領事館		在局子街分館	
		在汕頭領事館		在頭道溝公館	
				在暹春分館	

大使館 九
公使館 一八
總領事館 三〇
領事館 五五
分館 一三
出張所 八
商務官 七
代表其他 三
總數 一四三

(支書課發送係調製)

條三普通第一三號

昭和八年三月二十四日

内田外務大臣

在土耳其 吉田大使

國際聯盟極東阿片調查委員會報告（極東問題）

送付ノ件

別添「極東阿片問題」一部貴館諏訪書記官ニ御手交相成度

外務省

B-0908

0352